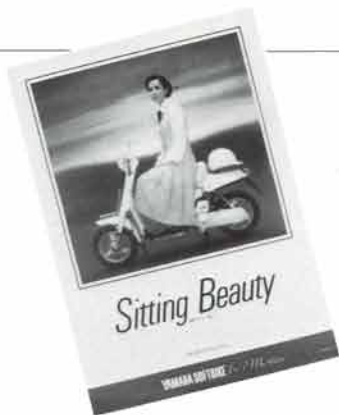


新発売! '80年ニューモデル第1弾

NEW チャピイLB50II/80IIシリーズ

NEW SR400SP/500SP NEW YZ80/125/250





シッティング・ビューティ——ヤマハだけのステップスルー・スタイルが、いま大きな人気を集めています。今月は、そんな「ステップスルー派」のお客さまの姿を集めてみました。性別をこえ、世代をこえそしてお仕事をこえて、きわめて幅広い層に普及しているパッソル&パッソラ。その姿は改めてソフトバイクの定着ぶりど、バイクの市民権の高まりを感じさせるもの。ユーザー捜しがこれほど楽で、逆にあまりの多さにご登場いただくお客さまの選択にこれほど苦労した記事も珍らしい、というのが取材記者のいつわらざる気持……でした。

年末・年始商戦スタート!
冬場の基本作業で'80年への基盤固め

8

われら「ステップスルー」派
ますます好評!
ヤマハだけの「ステップスルー」パッソル&パッソラ

79'79 モトクロス日本グランプリ
79'79 ジャパンカート・グランプリ
ヘレポート

12

14
より強く、より速く!
一新ニューYZシリーズ新発売!

新発売! NEW SR40OSP / 50OSP
NEW チャピイLB50II / 80IIシリーズ

16

18
79'79 モトクロス日本グランプリ・ハイライト
光栄鉄美 / YZM ダブルタイトル獲得!

79'79 ジャパンカートグランプリ・ハイライト
日本のカートスポーツの盛り上がりを示した
79'79 ジャパンカートグランプリ

20

22
話のバドック

いまこんな話題が、これからこんな流行が……お客さまとの話題づくりのページ

27
「赤い三角屋根のシヤレンタお店」
静岡県浜松市・シクロサロンとつかさん

24

28
安全運転推進本部コーナー・店頭指導のワンポイントアドバイス
『冬も快適で安全なバイクライフを』

30
「商売繁盛・これからの販売店経営」
「人づくり」と戦力化のポイント

28

34
ヤマハ★トピックス
陸のヤマハ・海のヤマハ・世界のヤマハ

35
「高速遅角型C/DI点火」のはなし

34

35
ヤマハ用品・部品コーナー
ウインター用品ご案内



2年ぶりの開催で話題も高まる「第23回東京モーターショー」が11月2日から12日まで、東京・晴海の国際貿易センターで開かれています。今年も2輪車館の話題独占のヤマハコーナー。
ソフトバイクに、スポーツバイクに'80年代をリードする期待のモデルのこずかず、お客さまとおそろいで、どうぞじっくりとご覧ください。

年末・年始 商戦スタート!

冬場の基本作業で、'80年代への基盤固め



今年も残すところあと2ヵ月。'79年のご商売も追い込み期を迎えています。この季節はまた来季のご商売の足場を固める絶好期。この時期の成果が、そのまま'80年の商戦を大きく左右するからです。「冬もバイクで、活動的に!」そんな生活提案を含めながら、積極的な年末・年始の商戦をご展開ください。'80年代を見通した先取りご商売こそ、この秋の成果をさらに大きく飛躍させるのです!

冬場の基本作業で '80年代への基盤固め!

お客さまの管理、商圏の分析を基礎として展開されるさまざまな販売促進活動の中でも、新しいお客さまを増やす原付免許教室と乗り方教室、円滑な代替を促進する安全点検サービスは、ご商売に欠かすことのできない基本作業の3本柱。

中でも、これからの冬場に特に重点的に実施したいのが原付免許教室と乗り方教室。'80年代商戦への基盤固めともいえる、有力見込客を発掘し、育成する作業です。そこで今月は、これら冬場の作業にいち早い取組みを開始、'80年商戦への着実なスタートを切った2店の販売店さまの意気込みをご紹介します。

免許教室

春先き需要を見越した より手堅い販促策のひとつとして 自主開催を積極推進

岐阜県各務原市

堀尾商会(堀尾義治社長)

「ドライバー4千万人時代」「国民皆免許時代」といわれる中で、とくに'80年代の原付免許教室には、基本販促作業としてのマンネリ開催から脱皮した一層のキメ細かさが、求められているといえそうです。

ひと口に90万人、といわれる'80年の原付免許教室対象者を、いかにヤマハ原付免許教室に導き、お店のお客さまとして育てあげていくか!? このカギは、充実した教室の一段と積極的な開催、特に自主教室の実施にあるといえるでしょう。ビデオ講座や自習セットの活用なども合わせて、春先き需要のもりあがりや決定づけるのは、この冬場の免許教室活動なのです。

毎週木曜日は「免許教室の日」
さらに夜間教室や
自習セットで完璧フォロー

ここにご紹介する岐阜県各務原市の堀尾商会さんは、免許教室をご商売の主軸として大きな成果を上げているおひとり。年々、切り拓かれていく新興住宅地を目前に、定地定例の自主開催で、着実に商圏内の需要の掘り起こしを果しているの

です。
堀尾商会さんの免許教室の展開は次のとおりです。

まず、定地定例の免許教室は、毎週木曜日の朝9時30分から午後3時まで、自店2階の特設会場で開催しています。講師は推進委の指導員でもある堀尾社長自らが担当し、ヤマハの「学科指導の手引き」をベースにして、体験談をふんだんにもり込んだ、楽しい講義が行なわれて



毎週木曜日には5人から10人のお客さまが集まるという店舗2階に設けられた免許教室の特設会場

「とにかく免許教室はうちの販促活動の主軸ですから、1人でも受講希望者がいれば開催しています。1人だとやらないということでは、お客さまの気持ちをおくじかせることになる。信用でここまできた店だけに、そんなことはできません。自習セットも4組用意していますか、こちらもフル稼働。とりわけこの冬場は力を入れているつもりです」(堀尾社長)

さらに、この教室に参加できないお客さまのためには夜間教室も開講。こちらは毎週月曜日の午後6時30分から11時までがテキストによる講習。そして、その週の木曜日の午後6時30分から9時までが問題集による模擬テストが行なわれるものです。



昨年7月に免許を取得したチャビィのお客さま・大下真由美さん(左)も卒業生のおひとり。いまでは近所の奥さま方に「堀尾さんは免許を取るまで面倒みてくれるよ!」とPRをかけてるほど



息の合ったインストラクターぶり、お客さまの信頼を集める堀尾社長と奥さま・富美子さん

講習から手続きまでの徹底指導で 地元への信頼を獲得

昭和49年からお店で自主開催を続けている堀尾商會さんですが、その積極的な開催もさることながら地元で評判を呼んでいるのが堀尾商會さんならではの、といえる徹底指導。「徹底的にお客さま本位のサービスに心掛けています」(奥さま・富美子さん)というお話でもわかるように、免許教室を受講するお客さまはそれこそ筆記用具だけ持参すればOK!というほど、システムの充実化が図られているのです。

堀尾社長は語ります。その徹底指導ぶりについて。

「いくらバイクに乗りたいといっても、初めてのお客さまにとってわずらわしいのが必要書類の準備や写真の撮影、試験の手続きでしょう。ですから、どうせ免許取得の手ほどきをやるんだったら、それらいっさいの手続きまで合わせてやってあげようということにしたのです」

ちなみに、それらの手続きとは住民票

乗り方教室

自動車学校とタイヤアップで 四輪ドライバーをも含めた 幅広い需要創造活動を展開

の取得から写真撮影、受験の申請など。これらは木曜日の免許教室後に全員をクルマに乗せて支所から写真屋、警察と回るものですが、さらに試験場や免許取得時の警察への送り迎えなども随時実施。お客さまの間では何から何まで面倒見してくれると喜ばれ、いまや口コミによるお客さまがそのほとんどを占めています。

奥さまも講師のひとりとして
今後はレベルに合わせた
クラス分けも

現在、堀尾商会さんの免許教室の受講料は5000円。このシステムを採用入れた時点で1500円から値上げしたものです。この金額で免許教室にプラス上

記一連のサービスまで実施されるのでもしる実質的には値下げ気味。それでも堀尾社長は、今後もこのサービスの質は落とさないとおっしゃる切ります。

「確かにこれだけのサービスをすればかなりの時間を費すことになりましたが、それでもやればやっただけの成果はあるので今後も方針を変えるつもりはありません。」

せん。さらに、今後はお客さまのレベルに応じたクラス分けも取り入れていきたい。こちらは女房も先日の原付インストラクター研修会を受講しましたので態勢も万全。80年も商売の中心となるのはソフバイクでしょう。この徹底した免許教室で確実に実売率を高めていきたい、と考えています。」

神奈川県大和市

柴崎オート(柴崎義雄社長)

ファミリーバイクの販促活動として免許教室と表裏一体の関係にあるのが乗り方教室。原付バイクユーザーの激増に伴う安全運転の気運の盛り上がりと相まって、いまや乗り方教室はご商売においてなくてはならない活動のひとつとなっています。

店頭での乗り方アドバイスはもとより納車時の徹底指導や免許教室と連動した乗り方教室の開催など、その形態はさまざまですが、さらにここに来て注目を集めているのが、省エネ「ムード」に合わせたペーバー・ドライパーを対象とした乗り方教室の開催。概算2900万人ともいわれるこれらの人々への冬場のアプロ

ーチは、80年商戦の立ち上がりには大きな意味をもっているのです。

地域活動的性格の打ち出しが
奏功して
コース借用料はゼロ

ここに紹介する神奈川県大和市の柴崎オートさんの場合は、乗り方教室を免許教室のプログラムのひとつとして組み込み、同じ地区の7つの販売店さんと合同で自動車学校のコースを借りて定地定期開催されています。

まずは、柴崎社長にそのいきさつからうかがってみました。

「免許教室の社会への浸透は、もういうまでもありません。でも乗り方教室についてはまだまだ足りないのが現状です。ね。そこでもっと広くバイクの手軽さと安全運転を社会へ訴えかけようと思ひ、



セールスとの打ち合せにもつい熱が入り、話題は今後の展開方法へと(左が柴崎社長)

です。会場は、地元の大和自動車学校へヤマハのセールスマンと一緒に交渉にいったところ、公安委員会の了承も得られ快く提供してくれました。費用も教室開催日の管理人の担当のみ負担すればOK。(自動車学校は定休日なので)という大ヒットで、話はトントン拍子に進んだという次第です。」

免許教室の
予備講習としての開催が
さらに女性の人気を集めて

ところで、大和市では毎月第3水曜日が合同免許教室の開催日となっています。だいたい1回の教室に40〜50名が集まるもので、1店平均では7〜8名の動員をもちかちっています。その動員とは実は乗り方教室の受講者で、要するに大和安全

同じ地区内のヤマハフレンド店7店に声をかけて『大和安全運転指導員会』を組織し、この力を軸にして合同乗り方教室の開催を実現させる方向にもっていったん

柴崎社長をはじめとする大和交通安全運転指導委員会のメンバーには推進委の指導員が4名、準指導員が3名も勢揃い。丸2年の実績がそのまま地域の信頼を集めています



運転指導員会では、乗り方教室を受講されたお客さまが免許教室へ送り込まれるというシステムをとっているのです。「乗り方指導といっても免許取得前の指導から、免許取得時の指導、そして納車時の指導までいろいろあります。でも、私たちがやっているのはもつと前の、免許教室を受ける前の指導なんです。



「乗り方指導はお客さまとのコミュニケーションづくりにもってこい」と柴崎社長。そのやさしい手ほどきは女性客の間で大好評です

「省エネ」モードに呼応して
四輪ドライバーや
ペーパードライバーにも
アプローチ
「原付ユーザーに対する乗り方指導は今後ももつと力を入れていくべき」と語る

というのは、女性の場合は例えば免許教室を受けられる人でもバイクのことを全く知らない人もいるわけですよ。ですから、そんな人たちも含めて、まずはバイクに親しんでもらい、その体験の中でバイクを知ってもらうという、いわば免許教室の予備講習として実施しているものです。

もちろん、予備講習とはいえ免許取得後にはすぐに街中へ乗り出せる位の質の高い指導を行なっていますが、おかげでとくに女性のお客さまの間では大好評で、時には免許を取得しバイクを購入されてもまだ運転に自信がないとおっしゃる方も参加されたりと、いまでは地域への浸透度も広がるなど当初の狙いどおりに進行することができています」

柴崎社長。現在の合同乗り方教室も「そのうちには市や警察とのタイアップを図るなどして社会性を高めていきたい」とのことでしたが、さらに厚木市の支店で実施しているのが同じく地元の新井自動車学校におけるバイク相談コーナーの開設。四輪免許取得者へのサービスとして同自動車学校が実施している原付乗り方指導に対する、指導の援助からバイク展示、購入アドバイスなどの活動です。

「原付バイクに乗車する資格がある免許を取得したのだから、どうせなら乗り方も知っていたらこうと始められたこの原付乗り方指導ですが、普通免許取得者のほぼ全員が受けられている。免許を取ってもクルマがない人から、ご主人が乗られるので実際には乗る機会が少ない人、それこそ「省エネ」でバイクを選ばない人など、バイクに対する関心の高さにはあらためてビックリさせられましたね」

原付免許の取得希望者から四輪ドライバーやペーパードライバーまでを相手に乗り方指導に取り組む柴崎オートさん。早くも80年商戦の足固めもガッチリと、その余裕のほどを語ってくれたのでした。



「腰かけたスタイルがとても女性的で、やさしい感じなので好きなんです」

岐阜県各務原市 岡田けい子さん(主婦)



「今、僕たちの間で流行なんだよネ、このステップスルーが」

埼玉県浦和市 矢内幸一さん(大学生)



「雨の日でも、足もとがぬれないのがいいですよネッ」

東京都大田区 滝 節子さん(主婦)



「お店の雰囲気ピッタリにあかぬけたバイクを捜していたんです」

千葉県船橋市 萩原利明さん(喫茶店経営)



「ステップラインの意外にスポーティな感じが気に入ったんです」

石川県金沢市 佐藤加津江さん(主婦)



「またがらなくてもいいから彼女にも乗られちゃうんですよ」

埼玉県富士見市 垣沼 弘さん(大学生)

プスルー派

年齢、性別、職業などの分けへだてなく、これほど多くの人びとから愛用される「ステップスルー」その人気の秘密をさぐってみようとして無差別抽出で26人のユーザーの方にインタビューしてみました



「なんとなくハッピー姿とステップスルーって決まっているでしょう」

東京都世田谷区 菊地 勉さん(寿司屋勤務)



「まさにスクーターって雰囲気がカッコいいじゃないですか」

静岡県浜松市 杉浦 諭さん(喫茶店勤務)



「椅子に座ったまま外に出られるっていう気軽さがもう大好き」

千葉県船橋市 金子英子さん(主婦)



「膝をそろえられるっていうのは、やっぱり女性にとってありがたいですネッ」

神奈川県横浜市 藤田浩美さん(予備校生)



「ジーパンからロングスカートまで、どんな服装にもピッタリなんだから」

東京都八王子市 柳田久美子さん(高校生)



「なんとって新しさ、が感じられるじゃない、パッソラは」

東京都世田谷区 福島幹子さん(大学生)



「仕事でも買物でも出かける時はほとんどスカートですから」

神奈川県大和市 武井米子さん(主婦)



「腰かけて乗れるから気楽。雨でも出かけちゃいますよ！」
東京都東大和市 田中早苗さん(主婦)



「女房や娘にもちょいちょい乗られて困っているんですヨ！」
東京都港区 藤田秀勝さん(食料品店経営)



「乗っている人を正面から見るとすごくわかるんです、パッソラの気品のよさが」
東京都渋谷区 吉田悦子さん(生花店経営)



「スカートでも足もとが寒くないでしょう、まさに雪国のバイクって感じなんです」
石川県金沢市 堀田信子さん(主婦)



「パンツロンでもすそが汚れないし、安心して乗れるんです」
東京都港区 藤村美由貴さん(ケーキ店勤務)



「たとえばお客さまのお宅へうかがう時でも背広姿で乗ってもおかしくないですよ」
千葉県船橋市 山口安弘さん(会社員)



「僕だけでなく女子店員もお使いなんかでよく乗っていますよ」
静岡県浜松市 森田博さん(お茶屋勤務)

われら"ステッ

ソフトバイク時代も3年を経過したいま、ヤマハだけの"ステップスルー、スタイルに寄せられるお客さまの人氣も最高潮に達しています。"腰かけて美しい、パッソル&パッソラのお客さまも数10万人をかぞえ、その姿は日本の至る所で見受けられるほど。



「服装を選ばず乗れるので仕事の足として利用しているんです」
東京都渋谷区 小林寛子さん(図書館勤務)



「主人が"女が乗るのにまたぐバイクじゃダメ"っていったので」
東京都世田谷区 越 登子さん(主婦)



「まず気に入ったのが、ユニークなスタイリングと加速の良さ」
石川県金沢市 倉上宏之さん(大学生)



「いままでのバイクにないスタイルだから決めちゃったんです」
長崎県佐保市 柳田久美子さん(高校生)



「ヤマハだけしかステップスルーのスタイルってないでしょう、だから」
神奈川県座間市 藤田洋二さん(会社員)



「女性ならやっぱり腰かけておしとやかに乗らなくっちゃ！」
兵庫県神戸市 中山明子さん(OL)



Sitting Beauty
腰かけて美しく。
を合言葉に

ますます好評！
ヤマハだけの「ステップスルー」
「パツル&パツソーラ」

「われらステップスルー派」前ページにご紹介した幅広いお客さまの姿は、まもなく発売4年目を迎える「パツル」そして3年目の「パツソーラ」が、いまいかに深く、広く人びとの暮らしの中に定着しているか、をはつきりと物語っているものです。

● このキメ手は、もちろんスタイルの「優しさ」と操作の「易しさ」。その象徴がヤマハだけの「ステップスルー」スタイルにあることはいままでもありません。

● 男女を問わず、家族のだれもが安心して乗れる「やさしい乗りもの」として発売された「パツル&パツソーラ」は、ヤ



マハ独自の「ステップスルー」の上品でスマートなスタイルによって、まずミセスを中心とする女性層の圧倒的な支持を集めてきました。

そして「ステップスルー」の高度なファッション性や安全性はやがて、若い女性やヤングなどの若い感覚にも受け入れられてきて、前ページのようにお客さまの層を、飛躍的に拡大させているのです。

今春から3タイプ・7機種勢ぞろいした「街の小さな小さなク・ル・マ」ヤマハソフトバイクシリーズの中で、快調にお客さまを増やすキヤロット、リリック、マリックとともにますます好評の「パッソル&パッソラ」。

ヤマハならではの、決定的なセールスポイント「ステップスルー」が、再び脚光を集めているいま「腰かけて美しいステップスルー、ステップスルーはヤマハだけ」を合言葉に、どうぞ積極果敢な商圏の拡大、年末・年始のご商売をご展開ください。

今シーズンの最後を飾るモトクロスとカートレースのメインイベントが、10月6、7日、所も同じスポーツランド菅生で開催され、ここでも「モータースポーツのヤマハ」が、つめかけた観衆に強烈に印象づけられたものであった。



激しい雨、泥沼と化した路面、最悪のコンディションの中でスタートしたA250cc・IIヒート。しかし、つめかけた大観衆は、ライダーの好ファイトに、熱い声援を送りつづけた。

全日本選手権第9戦・第16回モトクロス日本グランプリ大会

激闘の'79シーズンをしめくくる雨中の熱戦

光安／ヤマハYZM ダブルタイトル獲得！

今シーズンの全日本選手権モトクロスシリーズは、入門クラス・ノビース（全日本シリーズはなく、地方選手権として全日本と併催）を中心に、平均参加台数500余台というほど、再び人気を高めながら続けられてきた。そして、この傾向に拍車をかけたのが、例年になく激しい各クラスのタイトル争いだが、そんな79全日本選手権シリーズをしめくくる注目の最終戦・モトクロス日本グランプリ大会が、10月6日、7日の両日、菅生ハイランドに232台を集めて開催された。

大活躍の藤、無念の総合2位

光安鉄美、藤秀信のヤマハYZMコンビに福本敏夫（カワサキ）が加わり、三つ巴のチャンピオン争いが、この最終戦にまで持ち込まれて、最高の関心を呼んだ国際A級125cc／250ccの2クラス。

6日（土）の第1レースとして行なわれた125cc第Iヒートで、逆転チャンピオンを狙う藤秀信が、1周目から独走。菅生名物の大逆落しを含むアップダウンの大きなコースを快調にとばして圧勝した。しかし、2年連続の赤ゼッケン①を目指す光安も、安定したベイスで追い上げ、40分まで3位。残り2周で鈴木秀明（ホンダ）をかわし着実に2位入賞を果してしまった。

タイムトライアル時から1分46秒台と群を抜く速さを見せていた光安と藤のヤマハコンビは、第IIヒートでも依然快調。再び藤が独走をみせて完全優勝なるか、と思われたものの、終盤でコーナーの深いワダチにはまって転倒した周遅れライダーに巻き込まれて藤も転倒。この間にライバル福本を抜いて2位に上がっていた光安が、待望の首位進出を果してそのままゴール。まさに2位藤にとっては痛恨の転倒であり、光安のGP125cc総合優勝、そして79チャンピオンが決定した瞬間でもあった。

明けて7日は激しい雨、泥沼と化したコースで国際A250ccの2ヒートが行なわれた。



国際B125ccチャンピオンを決定した秋元春夫

ゼッケンNoはもちろん、ライダーの識別さえ困難なほどハードなコンディションの中で、藤が確実に16周を走破して2位に入賞。続く第IIヒートは、さらに雨が激しさを増した中行なわれたが、第Iヒートでリタイヤした光安が、今度は2位に入り、前日の125ccにひきつづいて、晴れの国際A級両クラスのチャンピオンを決定したものであった。

注目を集めた東福寺、竹沢のYZMコンビ

一方、この光安、藤のヤマハYZMコンビの大活躍とともに熱心なファンを集めたのは、並みいるワークスマシンを向うに市販モトクロスサーで堂々たるレースを展開した東福寺保雄、竹沢正治のヤマハYZMコンビだ。125ccクラスは、15ベージにご紹介した80年YZ125、250は79年YZ250の出場。東福寺は125ccIIヒート5位、250Iヒート4位、竹沢は250IIヒート4位と、ワークスマシン勢に喰い込んでみこ

Motor Sports Highlight

79ジャパンカートグランプリ

世界のトップカーターを迎えて、

一段とハイベルな好レースを展開

ヤマハRC100-A 杉山茂雄

驚異のゴボウ抜きで日本人最高の3位入賞!

10月4日から7日までの4日間、菅生ハイランドと山ひとつへだた菅生カートコースでは、カートスポーツのメインイベント「79ジャパンカートグランプリ」が盛大に行なわれた。FIA（国際自動車連盟）JAF（日本自動車連盟）公認、仙台放送、SLカートクラブ主催のこの「ジャパンカート」も、3年目を迎えた今年から最高格式の「グランプリ」の名が付され、名実ともに世界の5大イベントのひとつとなって開催されたものである。

国際色もさらに豊かに
8カ国から14選手が出場

もちろんアジア地区ではアジア選手権（ホンコンカートプリ）と双璧をなす2大レースのひとつ。それだけにインターナショナル部門へのエントリーもイギリス、フランス、オーストリア、スイス、スウェーデンのヨーロッパ各国としてアメリカ、オーストラリア、ホンコンと8カ国から14名の強豪を迎え、わが国のトップカーター37名をまじえて国際色豊かな最高の顔ぶれとなった。

レースは、インターナショナル部門の予選ヒート結果により上位30名が、メインレース「日本グランプリ・ヤマハ杯パシフィックチャンピオンシップ」、下位21名が「ダンロップ杯ジャパンチャンピオンシップ」に出場。また「レディスインターナショナル」、各国3選手チーム・計9カ国による「インターナショナル・チームレース」さらにナショナル部門のSLチャンピオンレース、Aの2ク



日本のカートスポーツを支えるSLカーターの力走が注目されたSLチャンピオンレース

ラス、エキジビジョンの「ジュニア・チャンピオンレース」の計7レースにわたるスピードのドラマが展開された。

7日のファイナルヒートは強い雨の中。結果は、メインレースのパシフィックチャンピオンシップに今年春の世界選手権で2位となったラース・フォースマン（スウェーデン）が優勝。2位にはタイムトライアルで52秒55の最高ラップをマークしたマイク・ウイエルソン（イギリス）が入り、そして3位にはヤマハRC100-Aを駆る大ベテラン杉山茂雄が2位からのスタート、10数台のゴボウ抜きを演じてみごと入賞。注目の日本人最高位入賞を果して、ファン、ドライバー、オフィシャル、ピットクルーなどすべての人の祝福を集めたものであった。

急ピッチの
拡大つづける
日本のカート
スポーツ

一方、全国の精鋭49名が参加したナショナル部門SLチャンピオンレースでは、Sクラスに14才の伊能徹（関東）Aクラスで阿部光（東北）が、優勝。

もとより、この「79ジャパンカートグランプリ」の成長ぶりも、SLチャンピオンレースに代表される日本全国のSLカートレースシリーズの盛況に支えられているものだけに、各地方ブロック代表の活躍が、注目を集めたことはいうまでもない。

各地に急増するカートコース、SLシリーズ戦を中心として、急拡大するドライバー人口、12才から手軽に楽しめる最も身近なモータースポーツとして、日本のカートスポーツは、いままざましい成長をつづけているが、まさにそんな姿を象徴するかのような「79ジャパンカートグランプリ」であった。

雨の中に一段とエキサイティングなデッドヒートが展開されたパシフィック・チャンピオンシップレースのスタート



な成績を収め、改めて「YZ」の戦闘力の高さを、最悪のコンディションの中で立証したものであった。
また、国際B級、ジュニアでもヤマハYZ

ライダーの活躍はめざましく、B125cc 250ccの両クラスで2位入賞を果した秋元春夫（浜松ランモアレッシング）は、125ccで79チャンピオンを決定した。

リリース 新発売!



NEW YZ 80

ミニモトクロスやミニバイクレースのライダーに人気のマシン「YZ 80」は、2・5馬力の大幅な性能向上を果しながら、4キロの軽量化を実現して、乗りやすさ、扱いやすさを高め総合的な戦闘力をアップしました。この大幅なパワーアップは、各ポート形状、タイミングの改良、リードバルブの大型化、ピストン・コンロッドの改良、エキゾーストパイプの変更等によるもの。合わせて好評の6速ミッションも、軽量クラッチの採用やシフト機構の改良によって操作性を高めました。

またこの新しいパワーユニットに合わせて車体関係も徹底した走行性能の向上と軽量化を計っていますが、中でも軽量化が剛性の高い高張力鋼管ダブルクレードルフレーム、ライディングポジションを一新したニューデザイン樹脂燃料タンクとロングシート、泥ハネ防止効果の高い大型フロントフェンダーをしてニューパターン・モトクロスタイヤの採用……などが主なポイントです。

ヤマハ市販モトクロス「YZ シリーズ」の'80年モデルが新発売となりました。手軽なモトクロスの世界を広げて人気の高い「YZ 80」は、定評の高性能に、乗りやすさ、扱いやすさをさらに高めて新登場。また、「ワークスマシン」ヤマハYZMのレブリカとして、一段とたくましく鍛え上げられたニュー「YZ 125/250」は、エンジン、フレーム、サスペンションなど、すべてを新設計のもとにフルモデルチェンジして注目のデビューです。

前ページにご紹介した'79モトクロス日本GPの盛況ぶりからもうかがえるように、若者の健全なスポーツとしてモトクロスは、いま再び大きな人気を集めています。好評の「YZ 50」を加え全4機種ぞろった'80年「ヤマハYZ シリーズ」で、どうぞお店でもスポーツユザの積極的な拡大をおすすめください。ここに新発売「ヤマハYZ シリーズ」の主な特徴をご紹介します。

もちろん、前後のサスペンションもホイールトラベルを15mmアップして走破性、耐久性を向上させています。

※オプションパーツとして、ジュニア(年少者)用のサスペンション・インナーズプリング、またモトクロス走行により有効な17インチ・フロントタイヤ(リム・スポークセット)も用意しました。あわせてお客様にご案内ください。

NEW YZ 125

よりパワフルに、より軽量・コンパクトに——を主眼に、すべてを一新したニュー「YZ 125」。

見るからにコンパクトなニューエンジンは、最も特徴的な変化である右側チェーン方式によって実現されたもの。合わせて大型リードバルブ、2重大型エアクリーナ1、新型エキゾーストパイプさらに従来型以上にエンジンの要求進角にマッチした高速選角型CDIなどにより、着実な性能アップとスロットルレスポンスの向上をひき出しています。さらに、アルミボラスメッキのシリ

ンダーと新型フィン形状のシリンドラヘッドで放熱効果を高めたのも新しい特徴。また、このパワーアップに関連してミッション関係も、クラッチ、ミッション、シフトメカの一連の機構をすべて改良、操作性と耐久性を向上させています。

車体関係もすべて新設計のもので、大幅な軽量化をもたらしたクロームモリブデン鋼管セミダブルクレードルフレーム、走破性、耐久性を向上させた窒素ガス室別体式モノクロス・サスペンションの採用などが飛躍的な性能向上と軽量化のポイントです。

また、クッション性能の向上も著しく、ホイールトラベルが一挙に前後とも50ミリ(前300ミリ、後290ミリ)アップしているのも特筆される点。これら一連の設計は、ニュー「YZ 250」とも共通するものですが、この「YZ 125」では、さらにフロントフォークのキャスタ角を立てて、コーナリング時の操縦性を高めています。

'80YZシリーズ仕様諸元

	YZ80	YZ125	YZ250
全長 全巾/全高	1720mm/785mm/980mm	2115mm/950mm/1215mm	2155mm/935mm/1195mm
軸間距離	1185mm	1430mm	1455mm
シート高/最低地上高	735mm/220mm	940mm/340mm	935mm/310mm
乾燥重量	61kg	85kg	97kg
エンジン	トルクインダクション	7ポート・トルクインダクション	7ポート・トルクインダクション
気筒数配列/総排気量	前傾単気筒/79cc	前傾単気筒/123cc	前傾単気筒/246cc
内径×行程	49×42mm	56×50mm	70×64mm
圧縮比	8.1	8.5	8.1
最高出力	17PS/11500r.p.m.	26.5PS/11000r.p.m.	40PS/8000r.p.m.
最大トルク	1.05kg-m/11500r.p.m.	1.80kg-m/9500r.p.m.	3.77kg-m/6500r.p.m.
始動方式	プライマリキック	プライマリキック	プライマリキック
点火方式	C.D.I	C.D.I	C.D.I
燃料タンク容量	4.7ℓ	6.5ℓ	7.6ℓ
潤滑方式	混合式(20対1)	混合式(32対1)	混合式(32対1)
発電機種類	C.D.I	C.D.I	C.D.I
点火プラグ	NGK・B-8ES、チャンピオンN-2	チャンピオンN-59G	チャンピオンN-20
キャブレター型式	VM26SS	VM32SS	VM38SS
エアクリナー	湿式モルトブレン	湿式モルトブレン	湿式モルトブレン
1次減速/減速比	ギヤ/3.143	ギヤ/3.444	ギヤ/2.625
2次減速/減速比	チェーン/3.643	チェーン/4.000	チェーン/3.429
クラッチ形式	湿式多板	湿式多板	湿式多板
変速機形式	リターン式6段	リターン式6段	リターン式6段
変速比	①2.400②1.833③1.476④1.217⑤1.040⑥0.926	①2.461②1.857③1.500④1.250⑤1.105⑥1.000	①2.142②1.812③1.411④1.142⑤0.956⑥0.875
フレーム形式	高張力鋼管ダブルクレードル	クロームモリブデン鋼管セミダブルクレードル	クロームモリブデン鋼管セミダブルクレードル
キャスタ/トレール	27°30'/80mm	29°/125.5mm	30°/132mm
タイヤサイズ 前/後	2.50-16/3.60-14	3.00-21/4.10-18	3.00-21/5.10-18
制動装置 前/後	機械式ドラム	機械式ドラム	機械式ドラム
緩衝装置(前)	オイルダンパー・コイルスプリング	オイルダンパー・コイルスプリング	オイルダンパー・コイルスプリング
緩衝装置(後)	ド・カルボン型モノクロス・サスペンション	ド・カルボン型モノクロス・サスペンション	ド・カルボン型モノクロス・サスペンション

NEW YZ 250

ニュー「YZ 250」も、もちろん「YZ 125」と同様の基本設計のもとに、すべてを一新しました。3馬力アップしたニューエンジンは、125同様、コンパクトで、かつ冷却性能の高い新型シリンドラとヘッドを採用。また

より強く。より速く。一新YZシ

11月1日より新発売

NEW YZ125



NEW YZ80



NEW YZ250



125は左側、250では右側にエキパイ出口をオフセットし、スムーズな取りまわしとなった新型エキゾーストパイプも特に高速性能の向上につながっているものです。さらに、エンジンのコンパクト化により、エンジンマウントとピボットシャフトを一体化させ、ドライブスプロケットとピボットシャフト間を短縮させて、チェーン外れ防止に大きな効果を出しているのも、125/250共通の80YZの大きな特徴ですが、加えて「YZ250」では、シリンダヘッドをフレームにマウントして振動の低減を図っています。

また、ミッション関係の変更も125と共通していますが、250では特に6速ミッションをよりオールラウンドなギヤレンジに変更、ギヤ飛込式のキック機構も新採用しました。

車体関係の最も大きな改良は、クロームモリブデン鋼管のフレームを、セミダブルクレードル型として大幅な軽量化を図ったこと。

また、モノクロス・サスペンションも125同様、窒素ガス室別体式です。これは写真のようにアルミ製の窒素ガス室をユニットから分離してフレーム部にセットしたもので、これによりオイル量のアップ、放熱性の向上、ユニットのコンパクト化が可能となりクッション性能の向上と軽量化につながっています。また、このユニットは従来型とは前後逆の取付けとなるため、減衰力調整がリヤアーム取付部、つまりクリナーケース裏側から簡単に行なえるものとなり、この整備性の向上も大きなセールスポイントのひとつです。

なお、ニュー「YZ250」では、ブレキ性能をさらに向上させる2リードイング式フロントブレーキ、一段と走破性を高める2・50-18のリヤ・リム、スポークセットをオプションパーツとして用意しました。

YZ80/125/250ともここにご紹介した以上に改良箇所が多数あります。より専門的な分野はサービスマニュアル等をご参照ください。

11月1日より新発売

キャストホイール+チューブレスタイヤ
商品性をさらに高めて新発売!

NEW SR400SP/500SP



●カラー：〔SR400SP〕ブリリアントレッド
ブラックゴールド
〔SR500SP〕ブラックゴールド



SR400SP



SR500SP

ロードスポーツの世界に「ビッグ・シング
ル」という新しいジャンルをつくって、マニ
アックなアダルト・ユーズアの根づよい支持
を集める「SR400/500」が、オンロ
ードバイクとしての個性を一段と強めて「S
R400SP/500SP」となつて新発売
です。

「SP」の新呼称からも明らかのように、
ニュー「SR400SP/500SP」は
キャストホイールを新採用●これに合わせた
前後タイヤのチューブレス化●さらに新パタ
イン・タイヤの採用●3・50から3・25へ、
前輪タイヤ幅の変更、など一連の足まわりの
充実によって、ロードスポーツとして一段と
軽快な操縦安定性を生み出しているのです。

これに合わせて、エンジン関係も●キャブ
レターを32mm口径のオーバル型としてスロッ
トルレスボンスを高め●エンジンプロテクタ
ーのラバーマウン等により静音性を高めて54
年騒音規制をクリアしています。また、車
体関係でもメーターからパイロットランプ類
を独立させた●XS750/650スペシ
ヤル●タイプのパイロット・ボックス別体型
としてメーター類の視認性をアップ●ハンド
ルレバーも新たにパワーレバーを採用したほ
か●リヤブレーキもトルクバーを採用したほ
か●リヤブレーキもトルクバーを採用したほ
かとして整備性を高めています。

さらに「SR500SP」は「SR400
SP」同様の●コンチネンタル・ハンドル●
シートカウル付シートの採用。また「SR4
00SP」では●タンデムライディングに便
利なグラブバーの採用（500は採用済み）
なども新しい特徴です。

※なお、霧中、降雨、降雪、ホコリなどに威
力を発揮する高輝度なハロゲン・ヘッドラン
プをオプションとして用意しました。

従来の「SR400/500」に対する仕
様諸元上の変更は●全長2100mm●全幅7
75mm●全高1130mm●シート高805mm
●最低地上高160mm●乾燥重量161kg●
キャスト127度20分●トレール113mm●タ
イヤ（前）3・25S19-4PR・リップパター
ン（後）4・00S18-4PR・リップ・ラグ
パターン、の各項目。いづれもニュー「SR
400SP/500SP」共通です。

NEW LB50II-A

●カラー：コンペティションライトグリーン、チャピイレッド、ニューホワイト



人気のチャピイが、 より使いやすく、より安全に 新発売！NEWチャピイ LB50II/80IIシリーズ

11月15日より
新発売



NEW LB50II-H

●カラー：キャンディブルー、ニューホワイト



NEW LB50II-C

●カラー：コンペティションライトグリーン、チャピイレッド、ニューホワイト



NEW LB80II-C

●カラー：コンペティションライトグリーン



NEW LB80II-H

●カラー：キャンディブルー、コンペティションイエロー



ファミリーバイクの最高級モデルとして、ファッションナブルなスタイルと使い勝手のよさで幅広いお客さまから高い人気を集めるベストセラー商品「ヤマハ・チャピイ」が、使いやすいと安全装備の充実を中心にモデルチェンジ。また一段と売りやすさを増して11月15日より新発売となります。

ニュー「チャピイ」の新しい特徴は、まず使い勝手の一層の充実。ソフトバイクシリーズで好評の●確実な始動とメンテナンステンフルのCDI点火の採用●フロントバスターレットリヤキャリアの大型化による積載量のアップ●サイレンサー付大容量マフラーによる排気音の大幅ダウン●ガソリン残量がひと目でわかる燃料計の新設……などが主な改良点です。中でも、リヤキャリアは10kgと従来の倍に積載量をアップ。大型フロントバスケットも、取付位置を70mm下げて、使いやすさを高めています。

一方、安全面では電装関係を大幅に改良して安全装備の充実を図っています。まず●ファミリーバイクとして初めてレギュレーターを採用してバッテリー上がり防止を図り●シートアンダーカバーの脱着をワンタッチ式としてバッテリー液の点検を容易にしたのをはじめ●角形としたヘッドライト●魚眼タイプのフラッシュランプを、それぞれ大型化●ヘッドライトのハイビーム・パイロットランプをスピードメーターに追加。また●メインスイッチをメーター部に、ヘッドライト点灯スイッチをハンドル・スイッチ部にそれぞれ移動して操作性を向上。あわせて●スピードメーターも角型とし、取付位置を上げてより読みとりやすくなりました。

その他●前後ブレーキにライニングの摩耗状況がひと目でわかるインジケーターを新設●フロントブレーキ調整を工具なしでできる新タイプに変更。さらに、自動遠心クラッチ3速のLB50/80II-Cタイプでは●シフトフォークを1本減らし、チェンジ操作を軽くしたのも新しい特徴です。

なお、オートマチックのLB50II-Aのチャピイレッドとニューホワイトには、写真のカラーシートのほかに通常のブラックシートも用意されています。



ヤマハYZM
ダブルタイトル獲得!

ダブルタイトルと、2年連続日本一を賭けて最終戦・日本GPに臨んだ光安。YPVS
装備のYZMの高性能と抜群のテクニックで、みこと念願の大記録を達成した

国際A級125cc.に総合優勝、250cc・IIヒート2位で、'79全日本選手権125/250のダブルタイトル独占を果たしたミスターモトクロス・光安鉄美とワークスマシン「ヤマハYZM」

また、125cc.総合2位、250cc.総合3位、僚友・光安と最後まで激しいタイトル争いを演じて、ランキングでも250cc.2位、125cc.3位を占めた藤秀信。そして、並みいるワークスマシンを向うに市販モトクロス「ヤマハYZ」で、めざましい健闘をみせた東福寺保雄と竹沢正治——激闘の'79全日

本選手権シリーズを盛り上げたヤマハマシンとヤマハライダーの活躍は、そのままメインイベント「第16回モトクロス日本グランプリ」のハイライトでもあった。

世界選手権ロードレースGP・500cc.、同フォーミュラ750そして、USAのスーパークロスやナショナルモトクロスシリーズにひきつづいて、お客さまに最も身近な全日本選手権モトクロスシリーズでも、ヤマハ技術の輝やかな成果が示されたものである。



A125のIヒートで圧勝、IIヒート惜しいところで2位、そして泥沼の250 Iヒート2位。チームメイト光安を最後までおびやかし、GPの立役者となったコンコルド藤



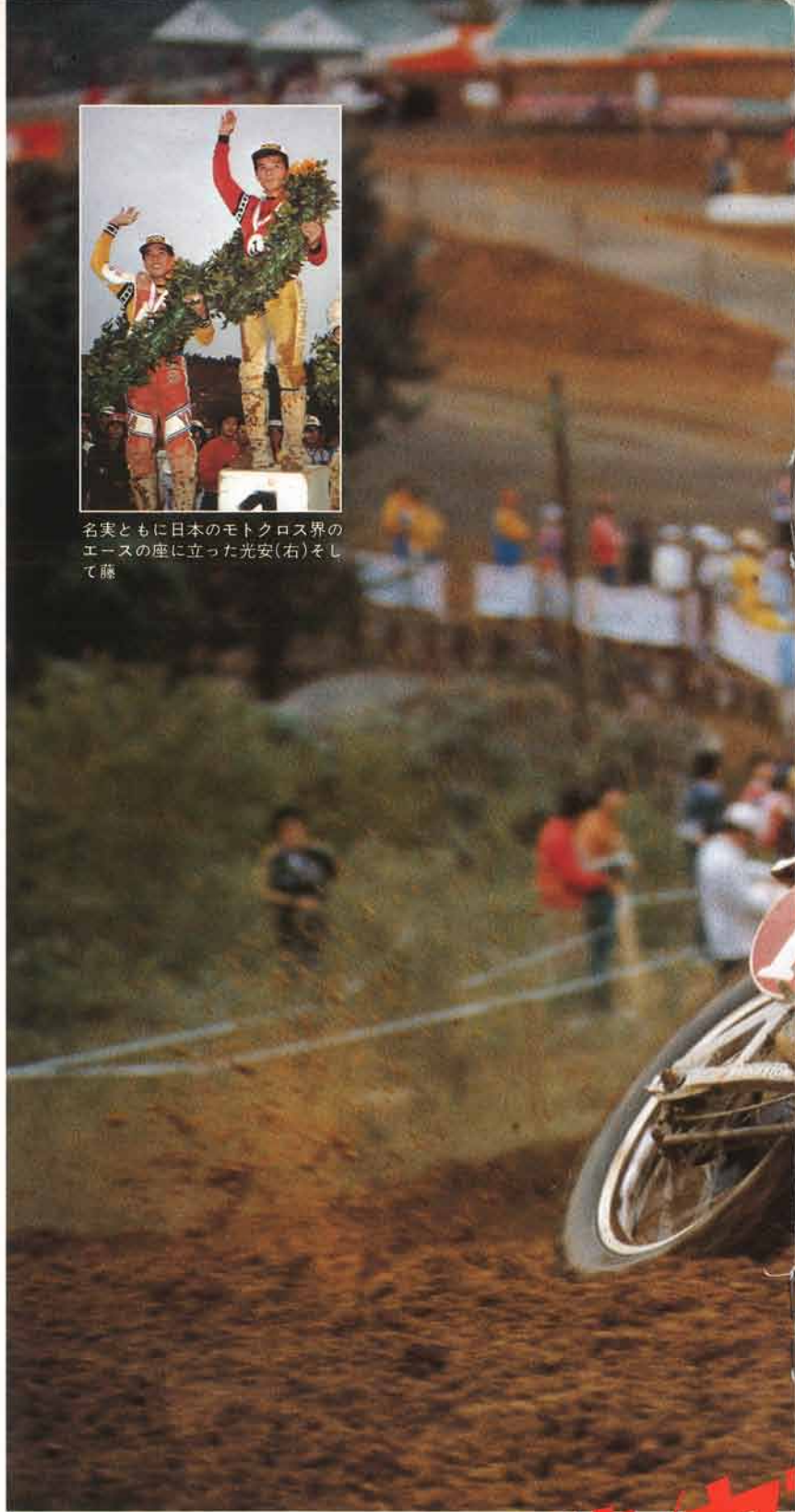
'80年モデルのYZ125で、IIヒート5位入賞。また'79年YZ250でIヒート4位……市販モトクロスカーYZの高度な戦闘力を見つけた東福寺



ベテラン竹沢も東福寺とともにYZで大ハッスル、250・IIヒートでは泥沼と豪雨の中、堂々の4位入賞を果たした



名実ともに日本のモトクロス界のエースの座に立った光安(右)そして藤



★ミスターMX★
光安鉄美 / ヤ
W ダブル **タイ**



日本のカートスポーツの盛りあがりを示した '79ジャパンカートグランプリ

ヤマハレッドアロー RC100-A / 杉山茂雄 日本人最高の3位入賞!

世界選手権、ヨーロッパ選手権、アジア選手権（ホンダ・シカゴカートブリ）、アメリカ・グランドナショナルレースなどと並ぶ世界のビッグレースとなった「ジャパンカートグランプリ」。予選ヒートから、アッドヒートが繰り出した

SLチャンピオンレースのS、A2クラスには、全国7ブロックで行なわれた'79SL全国大会チャレンジカップで選ばれた上位10選手の中から51名が出場。日本のカートスポーツの盛り上がりぶりを示した

今年で3回目を迎えた「ジャパンカート」は、日本のカートスポーツにとって、まさにエポックメイキングな大会であった。

「グランプリ」という最高格式のもとに、カートスポーツの先進国・ヨーロッパを中心に8カ国から14名という多数の外人選手を迎えて、一段とハイレベルなレースを展開したこと、それもジュニア、レディスといったカートスポーツならではの幅広い層を含めてのものであった

ことが、このジャパンカートの成長ぶりを物語っている。もちろん、これは日本全国で大盛況のうちに開催されている「SLカートシリーズ」などに支えられた、日本のカートスポーツの盛りあがりを示すもの。そんな中で、注目のメインレース「日本グランプリ・ヤマハ杯パシフィックチャンピオンシップレース」に、ヤマハレッドアローRC100-Aを駆る杉山茂雄（SLKC）が、堂々日本人最高の3位入賞を果たして注目を集めた。



12才から楽しめるカートスポーツ。ジュニアドライバーの急増に、このGPでもジュニアレースが組まれた。12才から15才まで11名が出場、会場の人気を集めたが、写真の山中淳君（14才・埼玉）が、大人顔負けの走りて優勝



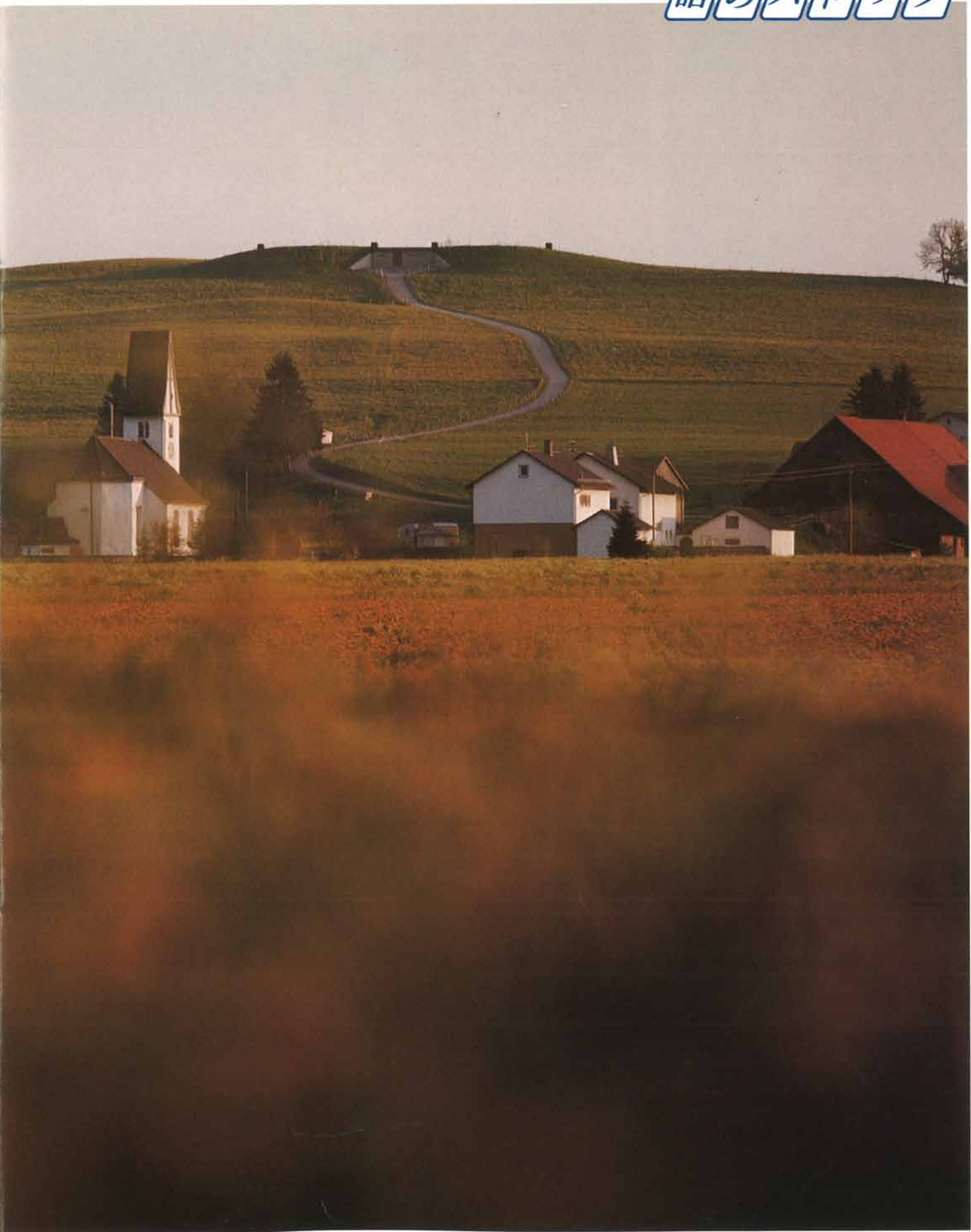
最高の国際交流の機会でもあるジャパンカートの中でも、国別対抗のインターナショナル・チームレースは絶好の場。外人選手を助けて、1国3名に満たない国には日本人ドライバーが出場するためだ。写真はラース・フォースマン（パシフィックレース優勝）に鈴木利男（左）、増田二三四が加わって優勝したスウェーデンチーム



予選21位、11列目からスタートしたRC-100Aの杉山茂雄は、20周レースの11周目までに3位に進出する快走ぶりをみせ、みごと日本人最高位に入賞した

華やかなインターナショナル・レディスレースもカートならではの。フランス、オーストラリア勢も含め17才から35才まで17名の女性カーターが出場。つめかけた報道陣の人気をさらってしまった







いまだんなことが話題になっているのでしょう。これからどんなものが流行るのでしょうか。ヤングからミセスまでの話題と流行の情報コーナー『話のパドック』です——

● 名刺、運転免許証、学生証など身分を証明するものもさまざま。でも主婦とか小さなお子さんは、それらを持ちあわせていないのがほとんどですね。

でも、もし地震や思わぬ事故にあった時な



ど、身分証がないと困ることがしばしばあります。そんな時のために、顔写真、氏名、連絡先、血液型、緊急時の家族集場所などを記載した「ライフカード」の普及運動が、いま文化放送の手で進められています。

このカードで特に目をひくのは、家族集場所の記載。いざ、地震が起きた時、親子がお互いを求めて右往左往することのないように、ということでもうけられたものですが、集場所まで事前に決めていた人は42.8%ほどいたそうです。地震の発生の話題がにぎやかな昨今、確かに必要なこと。この点お店ではいかがですか？ただし、集場所が高層ビルの前だったということのないようにくれぐれも慎重に……。

● ヤングの動向や興味の対象を知ることには、今どんな時代なのかという事を知るうえで、格好の材料になります。このほど「マトモジ VS インベーター」と題された世代の相違を知るうえでおもしろい調査が



おこなわれました。

このマトモジとは25歳から49歳の人、インベーターは、12歳から24歳までのヤングのこと。

さて、それによると、やはりとうなづける

のが、まず音楽とファッションの好み。インベーターはニューミュージックにジーンズ、マトモジは古賀メロディーに反ジーンズ。特に男性用香水コロンについては高校生の支持率が最も高いとか。

しかし、これとは裏腹に、価値感においては両者のめだつた断絶はなく、たとえば暴力教師に対しても両者とも80%以上が認めているようです。なんとなくのわかりのよすぎる若者像がこの調査でも浮き彫りにされているようです。

● 秋といえば、結婚シーズン、どこの観光地でも新婚さんがいっぱい。ところで最近のヤングは何事においても合理的。結婚は質素にしよう、挙式、写真、貸衣装すべて込みで7万5千円なりの「二人だけの結婚式」をあげ、そのかわり新婚旅行は海外で優雅に、というカップルが目立っているとか。

そんな翔んでるヤングカップルたち、さて結婚生活ではどれだけ翔んでいるかということ、まず平均3年間の結婚生活で一番うれしかったのは子供が生まれたこと…51%、旅行に行ったこと…11%と、翔んでるところか、今も昔もかわらないようです。そして、出産後は



夫の生活態度がかわり、帰宅が早くなったというカップルが43%と、ほほえましいばかりのマイホームパパ。どうやら「子は夫婦のかすがい」という諺は、今も昔もまったく変らぬようです。

● 最近とみに、円高という経済情勢も相まって、それとも「ウサギ小屋」といわれる住宅環境の悪さを忘れるためのひとときの夢を求めてか、ともかく海外旅行に出かける人が多いようですが、旅行熱ともうひとつ日本人観光者の外国製品に対する買物熱もかなりフィーバーしているようです。

そんな時節から、日本貿易振興会ハンブルグ事務所が、ドイツならではの商品は日本で大いにもはやされているという意識を地元

ドイツ人に持たせるために、日本で人気のあるドイツ製品を並べての展示会をおこないました。ローデンストックのめがねフレーム、トリンプの下着、ウェラの化粧品などがずらり……。ところが肝心の地元ドイツの人々には、これらの製品が、ドイツのどこで売られているのかも知らない人が続出。とても考えられない話ですが、どこで売っているのかという質問に、東京で売っているよ、という冗談もとばされたとか。

交通機関と貿易の急速な発達のもたらしたちょっととぼけた話ですね。



● 今年も、いろいろな流行語が出てきましたが、そのなかで中年男性と若い女性との秘かなロマンスを称した「夕暮族」なんて言葉もはまりましたね。

これは、吉行淳之介の小説「夕暮まで」から引用された言葉でしたが、さて、四十代中堅サラリーマン亭主のお小遣いの中味はいいくらいくらくらいなのか……ちょっと気になる調査の結果を見ると、1ヵ月の平均額は39800円。そうすると、一日あたり1300円といったところ。そして希望額は1日あたり1870円でした。やっぱり現実はきびしいようで、主婦のサイフのひもはなかなか固そうです。昼食代、コーヒー代、タバコ代……そして若い女性とのラブロマンス？ ちょっとこれでは苦しい感じ。

年上の面子にかけても若い女性の前ではしみつたところをみせたくないものですが、どうやら若いOLたちのお小遣いに比べると気がめいってしまう話かもしれません。



〈バイクで走る世界の道〉 枯草の海がこがね色の波をうつフランスの田園。一人、愛車と走りたような晩秋の風の中……。



バイク好きの戸塚社長、明るく社交的な奥さま悦子さん、まさにご商売の絶妙のコンビ

こんにちは
ヤマハです

シクロサロンとつか
戸塚幸雄社長

浜松市佐鳴台4-37-32
☎0534-48-3619

「赤い三角屋根のシヤレタお店」 センスの良さが、ソフトバイクのお客さまを増やしています。

「シクロサロン」—シクロとはフランス語でサイクルのこと。つまり「二輪車の部屋」。この店名だけからもなにか新しい感覚のお店であることが想像されます。お店は浜松市の山の手地区、新興の高級住宅街にあり、商圏ではいままも毎日のように新しい住宅を建てるつち音が響いています。

四年前、それまで東京の下町で続けてきたお店を売却し、全く新しいこの地に赤い三角屋根のシヤレタお店を構えた戸塚さんご夫妻。そのお店づくりはハイセンスな商圏の人々の趣向とマッチ。また確かな技術のご主人、明るく社交性に富む奥さまの名コンビぶりが評判を呼んで、商圏の家庭のガレージに四輪とパツル、パツソーラなどが同居する光景をずい所に生み出しています。

ご近所の住宅のガレージには 四輪車と並んで パツル&パツソーラが

お店は浜松の中心街から北西へ約3キロ。近くには、静かな湖（佐鳴湖）があり、最近浜松市の博物館が建つたりして、一带は環境良好な住宅地として人々の人気を集め世帯数が年々増えつづけている所です。

お店から1キロほど離れた所には、以前から約2千世帯の県営住宅団地があり、この団地に住む人々は、いまでもお店にとって重要なお客さまたちとなっています。しかし最近では、お店やこの団地の周辺に個人の住宅が建ち並び、そうした家庭の奥様たちが、お客さまの中心となってきました。

浜松市を中心とする中・大手企業の重役さんたちも多く住むという土地柄。もちろん、各家庭には四輪が必ずありますが、ご主人が四輪を使用している間の自転車に変わる足として、とくにソフトバイクが求められ、お店周辺にブームを呼んでいるのです。

「新しく免許を取って乗られる方と、すでに免許（普通免許）がある方とは半々ぐらいですが、この辺では小学生や幼稚園生ぐらいの子供さんたちが、自分のお母さんがバイクに乗らない、乗れないことを引け目に感じるよううで、お子さんに促されてバイクに乗られる方も結構多いんですよ」と奥さまの悦子さん。

こんな感じで「シクロサロンとつか」さんの商圏では、ガレージに四輪とともにパツルやパツソーラが同居するご家庭がずい所に





ヨーロッパ調の明るく、シャレた雰囲気の店舗は、「シクロサロンとつか」さんの大きな特徴

「シクロサロンとつか」さんのご商売の概要

店の立地

浜松市郊外の高級住宅街。近くには県営住宅団地も控えている。

商圏と主力商品・主な客層

競合する販売店さんが比較的小さいことと店舗のユニークさ、サービスの良さなど、ユーザーみなさんの口コミにより、ソフトバイク中心のお店としては広い商圏をもつ。ソフトバイク、とくにパッソル&パッソラーが販売の主力。2車種で80%近くにもなる。四輪を所有する家庭の奥さまがユーザーの中心。最近では若い男性ユーザーも多い。

敷地・店舗

敷地……………70坪（住居を含む）

店舗……………9坪
整備場……………6坪
店頭スペース……8坪
汎用スペース……6坪

主な販売促進活動

- 免許教室……四輪免許を所有するユーザーが比較的多いこともあり、免許取得を希望されるお客さまには自習セットで対応。6セットを用意。
- 乗り方指導……希望されるお客さまには奥さまが店舗裏の空地、通りの少ない道路で実施。
- 展示会……年2回、県営住宅近くのスーパーの広場で恒例開催。
- PR活動……催事の告知以外に、バイクの楽しさ、便利さを呼びかける内容の折り込みチラシを年4回程度配布。

見かけられるほどになってはいますが、こんな姿こそ「シクロサロンとつか」さんのご商売の一端を象徴的に物語っているようですよ。

「行くのが楽しい店」
「同じ商品が高級に見える店」
「お客さまに好評のシャレたお店」

つまり、四年前にこの地に移り、こうした市場のお客さまを確実にとらえて着実に販売を伸ばされてきた「シクロサロンとつか」さんですが、ご夫妻の人情と趣向を反映する個性的でシャレたお店づくりと秀れた技術力、そして奥さまの積極的なお店の外の活躍などが、この順調な発展の大きな要因となっています。

お店のつくりにはとくに戸塚社長の好み、センスが色濃く反映されています。設計も戸塚社長自らが手がけました。赤い三角屋根、吹き抜けをもつ高天井、内装は総チーク張り、

社長さんが愛用したバイク用品や小道具を駆使したイキナディスプレイ。こうしたことが一体となって全体的にヨーロッパ調の独得の雰囲気をかもしだして、お客さまたちの間で「行くのが楽しい店」「同じ商品でも高価なものに見える店」といった、評判を得ているのです。

「本当に気に入ったバイクを、自信を持っておすすめしたい。いまは迷わずパッソル&パッソラーです」

戸塚社長のいままでのバイクとのかかわりや、ご商売に対するご意見をいろいろうかがうと、こうした店構えになったことがよく理解できます。

戸塚社長のバイク歴はもう20年以上。ツーリングはもちろんモトクロス、トライアルを行なったのは、それらがまだ今日のように普及する前のこと。また、サイクリングも好きで、「一時は商売も忘れて夢中になった時期もあった」といいます。

外車、国産車を問わず、乗車経験のあるバイクは、枚挙にいとまがありません。

こんな感じですから、バイク・自転車についてははよととうるさい方。「自分が好きになり、納得できるバイクをお客さまにも売りたいのです」といった言葉も。

ご自分が愛用し、とくに気に入ったバイクをいまでも8台所有しています。最近のものでは「SR500」、その中には「YDS-1」「DT-1」といったヤマハの名車が数多く含まれています。

そしていま、こうした戸塚社長が最も力を入れて「広めたい」と思っているバイクが、他ならぬ「パッソル&パッソラー」。この点を戸塚社長は、いかにもバイクマニアらしい表現で次のように語っています。

「50cc強制空冷エンジン、CDI点火といったユニークな技術、そして世界的に通用するこのステップスルーのデザイン……すべてがヤマハならではのものです。初めて見たときから、これはイける。こんなバイクこそ

▶バレーボールのサークルで、お子さまの幼稚園や学校の父兄会で、そしてお店のご近所までどこへ行っても気さくな奥さまのおつきあいはお店発展の欠かせぬ力

「気に入ったバイクをお客さまに……」そんな戸塚社長の言葉を象徴するように、店内にはYDSIやDTIなどなつかしの名車が展示され、スポーツユーザーを喜ばす名解説も付されている



シャレたお店の雰囲気を一歩と高める、気の効いたイキなディスプレイがお店のずい所に見られ、おしゃれな感覚を倍加している

「シクロサロンさんは、個性的な店舗、社長さんと奥さまの手柄の魅力そしてお2人の絶妙のコンビネーションで、購売力の高い商圏の需要を確実に吸収され、年々販売台数を伸ばされています。ご商売がちよっとスマートすぎるかな？という気もありますが、免許教室、展示会などで、もともとご商売は順調に拡大されそうですね。当然それにつれておこなう人手の問題、ご商売の方向なども今後社長さん、奥さんとご相談させていただいて、80年は一大ジャンプを果していただきたいのですね」



戸塚社長と話し合う鈴木担当セールス(右)

そして、最後にこんな「シクロサロンとつか」さんのご商売を、担当のヤマハマン・ヤマハ静岡柳浜松営業所の鈴木富士夫社員に語ってもらいました。

一人でも多くの人にお勧めしたいと思っただけです」というほど。
ご商売をとおこしたような、こんな戸塚社長の商品に対する愛着が、今ではお客さまの共感を集めているもので、こんな社長を慕ってスポーツバイクの若者から、ソフトバイクの奥さままで集まって来られるようです。

**打って出る奥さま、
お店を守る社長さま
抜群のコンビネーションも
人気のヒミツ**

まさに「職人肌」という言葉がぴったりな戸塚社長ですが、「シクロサロンとつか」さんでは、こんな社長さんがお店で来店されたお客さまをガッチリと受けとめる役を引受けておられる一方、明るく社交的な奥さま・悦子さんが新しいお客さまをお店に導く役割を果たし、このコンビネーションがじつにうまくか

み合って、ご商売発展の原動力となっていました。
女優の香山美子さんを思い起こさせるような明るい感じの悦子さんは、取材中にもひんぱんにかかってくるお客さまからのお電話も一手に引受け、「みごと」というほどてきぱきと応対されています。
自主開催の免許教室の講師から乗り方教室のインストラクターもこなす奥さまは、また「若さと健康を保つため」と笑いながら、バレーボールサークルでの活躍ぶりなども話してくださいましたが、こんなサークルのみなさまや、お子さんが通う幼稚園、小学校の父兄の方がたなど顔見知りの方々がじつに多く、店頭でも気さくに声をかけて通って行きます。もちろん、悦子さんのこんな気さくさが、お店の外へ打って出るご商売の強力な武器となり、明るくさわやかで、シャレたお店の個性をまた一段と高めているようです。



『冬も快適で、安全なバイクライフを』

暦のうえではもう冬。

北の地方では、日増しに寒さも本格化している昨今でしょう。

数年前までなら「そろそろバイクも終り…」などといわれた季節。しかし、今やバイクにシーズン性はないといえるほど、バイクは人びとの毎日の暮しに欠かせぬものとなっています。完全な防寒の服装で、冬も快適に、安全にバイクをお使いいただくために、冬ならではの店頭指導のかずかずが、特にこの時期お客さまから求められています。

●冬場の安全は、まず暖かい服装から

快適で、安全な冬のバイクライフをお過ごしいただくために、店頭からお客さまにお伝えいただきたいアドバイスのポイントを整理してみると、まずさまざまな防寒対策、そして冬期特に気をつけたいメンテナンス、さらに冬ならではの運転上の注意点といった3つの項目に分けられます。

まず、第一はなんといっても暖かい服装。冷めたい風を受けて走行し、体まで冷えきってしまうことが、どんなに疲労増加の原因となるかは、よくご承知のことでしょう。

また、体や手足がかじかんでしまうようでは、さまざまな運転動作も鈍くなりがち。寒さに気をとらえて、注意が行き届かず、反応も遅れがちになるなどは、しばしば経験することです。

そこでまず、ライディングウェアを中心とした防寒対策からご指導ください。

具体的には、風を通しにくい素材のウェアを着用すること。その名のとおりのウィンドブレーカーが最高。さらにセーターやマフラーから手袋やシューズに至るまで、キメ細かくお客さまに合わせたアドバイスを与えたいものです。

防寒対策はライダーの服装ばかりではありません。冷めたい風を防ぐウィンドシールドや、ハンドルカバーなどオプション用品を活用したバイクの装備上の防寒対策も大きなものです。

巻末の「用品・部品コーナー」にご紹介のようにヤマハソフトバイク全機種には、それぞれのバイクのカラーに合わせた豊富なウィンドシールドとハンドルカバーが用意されています。安全運転上のアドバイスも必ず加えながら、こうしたオプション用品もおすすめいただきたいものです。

●冬場ならではのメンテナンス

ライダーの防寒対策のつぎは、特に冬場ならではのメンテナンスの必要性です。夏場などに比べ、想像以上に多くなるのがヘッドライトを点灯しての走行です。

例えば通勤にバイクを使われる方にとって夏場の退社時はまだ明るいのに、これからの季節では陽もとつぷりと暮れているという具合。当然のことながらバッテリーやライト類に対する心くばりは、この季節の要注意点です。

また、寒い朝の始動時のチョークの使い方、暖機運転の必要性なども、とくに女性ユーザーを中心に、改めて指導しておきたいものです。

●冬場特有の走行条件に注意を

そして最後は、寒さの中での運転上の注意点。特に早朝や夜間の運転では、想像もしていなかった所が凍結しているようなこともあるものです。そんなところでの冷静、沈着な運転操作も、日頃から販売店みなさまの適切なアドバイスがあれば、お客さまにとって全く変わったものとなるでしょう。「慌わてて急ブレーキをかけない！」こんなひと言だけでも、頭に入っている人と、まったく知識のない人では全く異なった結果となるはずです。

また、歩行者など周囲の人びとの服装が、黒っぽい、視認性の低い色合いになるのも要注意です。夜間走行の機会が増えるうえに、

周囲の人々が判別しにくくなるのですから、他の季節以上にスピードを落した、安全運転が必要なわけです。

——どれも当り前のことばかり、しかしお客さまにとっては決して当り前のこと、先刻ご承知のこととは限りません。年の瀬で気ぜわしい毎日が続くこれからです。どうぞゆとりある安全運転の心がけを、特に重点的にアドバイスしてください。





商売繁盛

これからの販売店経営

11

前回のお店づくりにつづいて、今回は「人づくり」をとりあげました。ご商売の大型化につれて多くのお店が従業員さんを置かれている今日、人づくりは店づくりにも増して重要性を高めています。

人づくりと戦力化のポイント 従業員の採用と定着を考える

良い従業員を長くお店に採用と定着が車の両輪

お店のいろいろな成長要素の中でも、人づくりが最大のカギを握るといっても過言ではないでしょう。

当面の売上げも順調で、豊富な車種ぞろえで店舗にも活気があり、資金繰りも円滑、というように外から見ればまことに万事順調そうなお店でも従業員の問題とならなるといっても頭を悩ませているお店も少なくありません。

長年お店に勤務し、お客さまの評判のよかつた従業員が独立のため辞めてしまい、その結果お客さまへのアフターサービスも行き届かなくなつて、やむを得ずご商売の規模を縮小された、という例もあります。このようにお店にとって伸びるチャンスがあつても、人の問題が不完全なことから、みすみすチャンスを失ってしまう場合さえあるわけです。

こうした従業員の問題は採用と定着が、いわば車の両輪。いかに採用がうまくいってもすぐ辞められてしまうようではいけません。日頃から要員計画を練り、定着化のために従業員さんにとっても魅力ある店づくりを同時に進めることがお店の発展に欠かせないのです。

従業員さんにとっての魅力あるお店とは……

有能な人材を採用し定着させるためには、自店の魅力を自他ともに魅力あるものにするのがまず第一。離職の原因の中で、賃金が安いとか、お店に将来性がない、自分の能力を正しく評価してくれない、というように本

人の都合ばかりではなく店側に原因がある場合も少なくないからです。

むろん店主と従業員の関係は、一定の労働条件を基にして合意した雇用関係にあるわけですが、仕事を離れば一対一の人間。その意味でお互いに人間的な理解、信頼が薄れてくれば、仕事の上での雇用関係も簡単に崩れてしまうのです。

では、従業員さんにとって魅力ある店とはどういうお店なのでしょう。最近のアンケート調査をまとめてみると、次のような項目が挙げられています。

- ① 経営者に人間的魅力と指導力がある
- ② 取扱商品に魅力があり、発展性がある
- ③ 店構えがよく、店内も活気にあふれている
- ④ 時間管理等就業条件が明確化されている
- ⑤ 仕事は忙しくて、やった仕事に対する評価は正しくなされている
- ⑥ お店の収益性がよく、その結果他店よりも待遇がよい

いづれも真理を突いているようです。個々のお店には、それぞれ個性もあつて当然ですが、一般的にいえることは、魅力あるお店

とは店の成長とともに自分自身をも成長させたいという従業員の願望を満たす力を持つているお店、といえそうです。

責任ある仕事と相互信頼で従業員さんのヤル気を伸ばす

人間の行動は、すべて目的のある行為です。人がなぜ働くかは、何らかの欲求を満たすためといえます。そして一般には働く人にとって次の五つの欲求があるといわれています。

- ① 公正を求める欲求
- ② 認識を求める欲求
- ③ チャンスを求める欲求
- ④ 参加したいという欲求
- ⑤ 安定を求める欲求（スズローの欲求原理）

そこで、従業員さんにヤル意識を持たせるには、これらの欲求を前提にして欲求に対して刺激を与え、的確な動機づけをすると同時に、そのためのお店の環境整備と働きやすい仕組みづくりに努めなければなりません。

最近よく若者の共通傾向として、「算算的」な納得しなければ働かない。ワクにしばらくののをきらう。などといわれますが、仕事に興味を起こさせ、能力に応じた責任ある仕事を与えることにより、ほとんど解決されることが多いようです。

責任ある仕事……それは従業員の能力を信頼し、プライドを持たせるとともに、相互信頼という人間関係の基本にもとづくことを忘れてはなりません。

お店の家族も含めた役割分担

従業員さんの働く意欲の中で、販売店奥さ





まをはじめとする家族の関係も無視することはできません。家族と従業員を仕事の上で特別に区別せず、それぞれの立場で役割分担を行い、責任を持たせるようにすべきでしょう。

あるお店では、毎月一回、全員で会議を行なっています。社長さんは営業拡大の立場から顧客の動向、商品揃え、販売方法について分析し、奥さまは計理の立場から資金繰り、収益状況について、そして従業員さんはアフターサービス、部用品の販売、在庫状況などについてそれぞれの立場から意見を出しあい、白熱した議論がかわされています。

このように、いかに規模は小さくともお店という組織の中で、従業員とお店の家族がそれぞれの責任を忠実に果たし、お互いの仕事を理解しあい、問題点を検討し、今後の対策を話しあいながら決定していく。このような緊密な関係をお店の中に根づかせることが、業績アップに直結するのです。

人材の育成が次の人材を呼ぶ 現代版「のれん分け」を考える

このように、従業員のヤル気と定着化に欠かせないのは、お店の発展と歩調を合わせながら自己の願望を同時に満たせる職場環境にあります。従業員さんが自己の将来に不安を持って以上、社長さんや奥さまがいかに特別な配慮や指導を尽しても、解決できないことが多いのです。

将来、小さな店でも、一城の主として思いっきり商売をやってみたい！ そんな夢を多くの従業員さんはお持ちのことでしょう。こうした従業員さんの気概、意欲にお店側でも積極的に応えるべきでしょう。自分のお店を持たせる意欲を与えることにより、従業員さんのヤル気を刺激し、定着性も高まるのです。サービスや販売技術の習得、顧客管理など将来お店を持つうえに必要なあらゆる知識や技能のマスターを促すことも、お店の基盤を強化するうえで、必ず役に立つはずで

す。敵に塩を送ることはしない、といった狭い考えでは、決してお店の発展にも寄与す

ることはありません。その意味からも現代版「のれん分け」の行き方は、これまでとはちがった見つけ方が必要のようです。すぐれた人材を「のれん分け」という形で送り出すことが、再び良い人材を得、従業員の安定確保と、定着化に直結するということです。

現実には、東北のA店さんの子弟を5年間の期限付で、修養の名目で預った神奈川のB店さんでは、その子弟を一人前に育て、A店に約束通り返した結果、以後継続的にA店さんの紹介で東北から人材を得ているのです。このように採用ルートの発掘にしろ、優秀な従業員の確保ということは、自店の魅力ある店づくり、環境づくりを怠ることなく、積極的な人材の育成に努めて、結果的に二輪車業界の評価を高め、それが立証となって優秀な人材に困ることがない、結果が得られるのです。

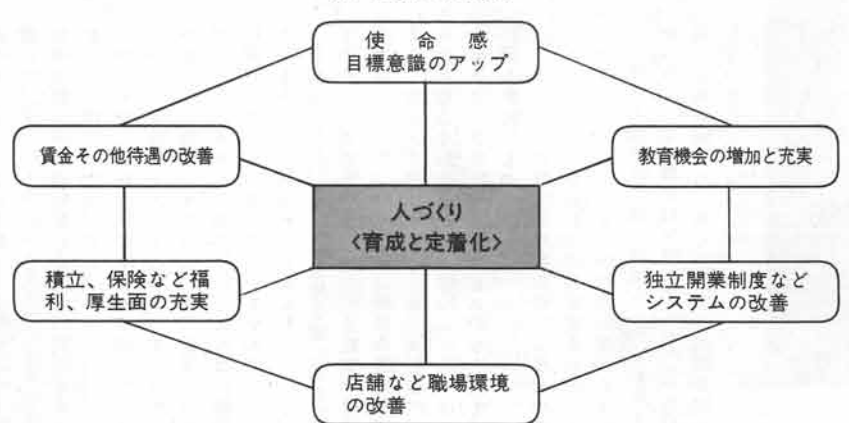
従業員さんの育成と 定着化の仕組みづくり

では最後に、こうした優れた人づくりのポイントを考えてみましょう。表のようにそれは、社長さま自からが、自店の労務政策について確固たる方針を持つことから始まります。

- ① お店の経営ビジョンを明確にし、従業員の目標意識を高める。
- ② 仕事の内容や責任権限を明確化する。
- ③ 教育の機会を多くし、能力の開発に積極的に取り組んで、自己啓発を刺激する。
- ④ ガラス張りの評価を通じて、賃金その他の待遇改善と成果報償を検討する。
- ⑤ 持ち家のための財形積立など、生活環境改善の援助を行なう。
- ⑥ 働きやすい店舗設備の充実、作業環境の改善をはかる。
- ⑦ その他就業条件、退職金制度、独立開業制度等をあらかじめ文書で明確化し、制度化する。

以上の7項目は、その内容とステップの一例ですが、お店の規模によってやれることと今すぐには無理なこともあるでしょう。しかし、お店1軒でやれないことも国や都

人づくりのしくみ



道府県、市町村の助成制度を有効に活用すれば、即実現可能となることも少なくありません。例えば「従業員独立開業資金融資制度」もその一例。

別名「のれん分け融資制度」といわれるこの融資は、昭和50年から労働省の後押しで発足したもので、従業員の定着化と独立を金融面から助成しようという制度です。

発足以来、中小の小売店に極めて好評で利用率も年ごとに高まっています。対象となるのは8年以上勤務し、26才以上、または5年以上勤務、30才以上の従業員の方。

貸付金額は1500万円までで、返済も設備資金は7年と長期です。詳細はよりの国民金融公庫に問合わせるとよいでしょう。お店でもぜひ、こんな制度のご活用をご検討ください。(つづく)



奥さま方に大好評!

第回サンケイリビング『ソフトバイク教室』ひと月で35回開催

〔ヤマハ東京〕 東京、神奈川、千葉、埼玉など主都圏に23万3750部という発行部数を持つユニークな生活情報紙「サンケイリビング」では、読者サービス活動の一環として「サンケイリビング・ソフトバイク教室」を9月一杯、都内16の会場で、のべ35回にわたり開催しました。

これは、㈱ヤマハ東京の協力のもとに行われた原付免許教室。会場はすべて区民館、商工会館、体育館などの公共施設。募集活動は「サンケイリビング」紙を通じて大々的に行なわれ、指導に当たる講師はヤマハの指導員。そして、参加者の中から抽選で10名のお客さまにソフトバイク10台が当たるという特別プレゼント付の内容です。

9月2日の品川教室（東京卸売センター会場）から22日の大田教室（大田区民センター会場）まで、35回の開催は折りからの「省エネ・ムードや入びとの暮しの必需品として定着したソフトバイクブームを反映して大盛況。会場の都合からやむなく受講生の制限をするところが相ついだほどです。

中でも特に郊外の住宅地などでは、ヤングミセスの受講生が大半を占めていましたが、みなさん一様に「今では私たちの生活にバイクは欠かせません。原付免許がこんなに簡単に取得できるとは思っていませんでした」と口をそろえて語られていました。

写真は、9月19日、杉並区民会館に35名（男性1名）を集めて行なわれた杉並教室の様相ですが、ニシカジサイクル（西梶幸雄社長）さん、コイズミサイクル（小泉和夫社長）さんなど熱心な販売店さんも応援にかけつけ、お客さまへきめ細かなサービスがなされて、好評を集めたもの。

「すでにこの教室の卒業生の方に6台納車しました。まだ問合わせのお客さまが続いていますが、どなたも全く新規のお客さまばかり、それも商圏外の遠い地域からの人が多く、やはりこうした教室は大賛成ですね」（小泉社長）と実売面でも、早くも大きな成果を表わしています。



MOTOR SPORTS HIGHLIGHT

パトリック・ボンズ/ヤマハTZ750 F750世界チャンピオンに! 大健闘の浅見貞男、ランキング4位

'79世界選手権シリーズの中でも、進展が最もスローペースであったフォーミュラ750ロードレースシリーズが、9月30日のユーゴスラビア・ラウンドで11戦の全日程を終了した。

第7戦・アメリカ以来チャンピオンのJ・チェコット(YZR750)を抜いて首位に立っていたフランスのP・ボンズ(TZ750)が、第10戦の西独ラウンドで両ヒートとも圧勝。チ

ャンピオン決定まで1ポイントと迫っていたが、リジェカで行なわれた最終戦でも確実に2ヒートともに3位に入賞、フランス人として史上初の世界チャンピオンに輝いたものだ。

ランキング2位は、TZ750のミッシェル・フルツェ(スイス)3位にチェコットが入り、日本から個人参加の浅見貞男が大健闘よく4位入賞を果たした。

ボンズ/浅見組 惜しくも2位 圧倒的速さがボルドーの話題を独占!

世界選手権フォーミュラ750でチャンピオンとなったボンズと4位の日本の浅見貞男がコンビを組んで、今年43回目を迎えた世界最大の耐久レース・ボルドー24時間に出場した。

9月15、16日の両日に行なわれたこのレースで、乗りなれたTZ750を駆るボンズ/浅見のソノートヤマハチームは、スタートから

中盤までトップを快走。午前0時前、タイヤ交換直後に浅見がクラッシュしたが、その後再び猛追を開始。3時間後に5位、残り1時間の時点で2位にまで上がり、大観衆の声援を一身に受けてトップを行くホンダ勢をおびやかしたが、結局あと一步届かず2位に終わってしまった。



↑
TZ750でみごと'79世界選手権F750のチャンピオンに輝いたP・ボンズ

↓
ランキング4位と大健闘の浅見。ボンズと組んで初挑戦のボルドー24時間耐久レースでも群を抜く速さをみせた

免許を取って即バイクにという方、とりあえず原付免許だけでも取得しておきたいという方、いずれにせよ免許取得希望のお客さまがまだまだ数多く存在することを証明するように大盛況のソフトバイク教室



真剣な表情の受講生のみなさま。それほどみなさんにバイクは身近なものとなっているのです



「今回は免許教室だけでしたが、ぜひ乗り方教室も受講していただきたい」と指導に当たった西村インストラクター

お客さまに大好評！ 秋のミニバイク・レジャーまつり

さわやかな秋晴れの10月14日、東京小平市の鈴木輪業（鈴木昇社長）さんでは、お客さまサービスとして恒例となっている「秋のミニバイク・レジャーまつり」を開催しました。これは静岡県御殿場の会場までバイク38台、乗用車12台によるツーリングを楽しむ、会場では趣好をこらしたミニバイク運動会に全員で興じるもの。

もりだくさんのプログラムの中には、ミニモトクロスや、会場から富士山5合目までのツーリング、またお客さまの手づくりの鉄板焼き昼食

会なども含まれ、お客さまはバイクで遊ぶ秋の一日を心ゆくまで堪能されていきました。
「店のクラブ、ナチュラルライド」を中心に、毎年実施しています。46歳というベテランからソフトバイクの女性ユーザーまで、一緒に楽しめるように、といろいろ工夫しましたが、お客さま同士の親睦も深まると人気も格別。おかげでおなじみのお客さまの輪が年々着実に広がっています」と鈴木社長も、お客さまのにぎやかな姿に目を細めていたのです。



パリシヨでも人気独占！

水冷ニューRD350



↑注目のロードスポーツコーナー。YZR500と、並んで、注目のニュー「RD350」（左）が

⇨こちらはオフロードバイクコーナー



11月2日頃から東京晴海の国際貿易センターで開かれていた「第23回東京モーターショー」。今回もヤマハは、注目の80年代モデルを多数出展、2輪車館の人気をさらっています。これに先だって9月28日から10日間、フランスではパリシヨが開かれました。

ヤマハの80年ニューモデルの世界初登場で注目されたことで、ヤマハは水冷式ニュー「RD350」や4サイクル単気筒「XT250」など東京モーターショーでも人気のマトとなつている新商品2機種を発表。また世界の人びとの暮しに密着した大小のモデルやモータースポーツの分野で活躍めざましいレーシングマシンを紹介して、パリシヨたちの人気を一手に集めたものです。
最強の市販ロードレーサー「TZ」ゆずりともいえる水冷ツイン、モノクロス・サスペンション装備のニュー「RD350」に群がる黒山のファン。そしていま、オフロードブームのフランスで若者たちの熱気をまた一段と高めているニュー「XT250」、80年に向けて万全の商品揃えにフランスのヤマハ販売店のみならず、意を強くされているところでも

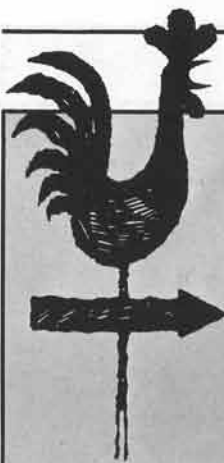


母と子の交通安全教室 お母さんを通じて 家族みんなに「交通安全」を！

（ヤマハ神奈川柳平塚営業所）ソフトバイクの定着につれて、お店のみならず安全運転推進活動も広範囲に多彩な広がりを見せていますが、去る9月7日には神奈川県寒川町で珍しい「母と子の交通安全教室」が開かれました。

寒川町役場の主催のもと、寒川幼稚園に20名以上のお母さま方を集めて開かれたこの催しは、子供たちをはじめ広く家庭内に交通安全を広めるためにはまずお母さんから……という趣旨のもと、日頃暮しにソフトバイクを愛用しているお母さま方を対象としたものです。
実施は神奈川県二輪車安全普及協

議会。ヤマハ安全運転推進本部の協力のもとに、ひと味違った乗り方教室が行なわれたものです。
ヤマハ安全運転推進本部では「お母さんは交通安全指導員」の小冊子を刊行するなど、早くからお母さまを通じた家族ぐるみの安全意識の高揚をアピールしていますが、今回この催しの推進役を果されたのも地元「ヤマハフレンド店」「イトウ商会」（伊藤正明社長）さん。特別指導員の資格ももつ伊藤社長は、こうした社会性のある販売活動を通じて、さらに正しいソフトバイクの普及と交通安全を、と今後の開催にも大きな意欲をみせています。



陸のヤマハ★海のヤマハ★世界のヤマハ

お便り、お電話、お待ちしております。

ヤマハニュースは、販売店みなさまの情報誌です。みなさまの積極的な誌上参加をお待ちしております。これは、/ と思う話題、明るいニュースなど、どうぞお気軽にお寄せください。取材要請ご質問、ご相談も大歓迎です。宛先は——

〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社
広報部PR課「ヤマハニュース」係
☎05383 (2) 1111 内線356

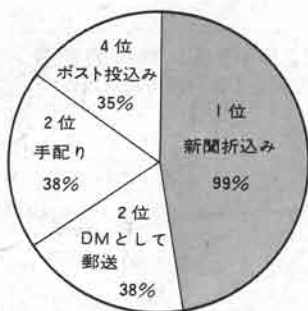
「RD250」を駆って、3年間に渡る世界一周を続けているバイタリテイあふれる日本青年がいます。話題の主は兵庫県尼崎市の玉井洋造さん(29才)。76年にカナダのバンクーバーを出发以来、アラスカ、アメリカ合衆国、南アメリカ諸国、ヨーロッパ、アフリカ、中近東……と文字通り世界中を走りまわり、もつが最終目的地のオーストラリアに元氣一杯到着したところ。

写真はオーストラリアのミレッジヤマハ社を訪れた時のものですが、ミレッジヤマハでは実に16万キロを走破した「RD250」を点検。テストランも実施しましたが、驚くべきことに「RD250」は、ショックアブソーバーとタイヤ交換の必要があった以外マシンには全く異常がなかったといえます。

データ・バンク

ユニークなチラシ活用法もいっぱい！ 販売店さまのチラシ活用の実態

ヤマハでは「チラシ活用見本集・夏編」を通じて、販売店みなさまのチラシ活用実態のアンケートを実施しましたが、そんな中からきわめて興味い活用法の一端をご紹介します。



まず、「チラシ配布方法の多い順に番号をつけてください」という質問に対して、ご覧のとおり圧倒的に多いのが新聞折り込み。

しかし、こんなユニークな活用法も、多数ありました。アイデアいっぱいものばかりどうぞご参考——

- 請求書と同封●原付免許合格者に郵送
- 店頭での手配り●展示会場での手配り
- スーパー店頭、通勤時の駅頭での手配り
- 駅前・スーパー等の駐車場での自転車カゴ、マイカーのワイパーへの投げ込み、はさみ込み
- 団地や商店への対象別集中投げ込み
- アルバイトを使って人口密度の高い地区への投げ込み
- ローラー作戦●店頭掲示●自衛隊正門前への掲示
- バス停吊りさげ●お店近くのレストラン喫茶店などの掲示
- 4枚1組のポスターとして町村の掲示板への貼付。

最後の難関とみられるオーストラリアの砂漠横断を前に、特製ガンソリタンクもとつけ、クリスマスまでにシンガポールを経由して帰国する

るといふ玉井氏の最後の旅が始まっています。タフガイ玉井氏とタフなRD250、帰国後の土産話が楽しみです。

ゴールは目前！ RD250で世界一周の玉井氏



サーフィショップの前で右がオーナーの日置君。キッチンフロアマットとおそろいの特製ステップマットに特製シートカバー付



サーフィン仲間にも 人気のパツソル

女性、男性、ヤングからナイスミドルまでステップスルーの「パツソル」&「パツソラ」に寄せられる幅広い人気のほどは、前半グラビアページにご紹介したとおり大きなものですが、これもそんな姿のひとつ。サーフィン仲間のマスコットともなっているパツソルです。

オーナーは、京都市伏見区桃山町の高校三年生・日置隆夫さん。「今年の1月から乗っている2台目のパツソルです。ステップスルーのカッコよさはいま学校でも大流行。走っていても楽だし、雨の日も足元がまったく濡れないのがいいですね。たまの休日パツソルを洗車するのが楽しみです」という日置君。浜辺でも仲間たちの手軽な足となって活躍しているパツソルの姿が、浮かんでくるようです。



↑会場は幼稚園、ソフトバイクがずらり並んで母と子の交通安全教室の開講

←運転技術を磨くお母さま、それを熱心に見守る子供たち、知らず知らずのうちに安全意識が深まっています



先の本モトクロス日本GPにも出場した'80年YZ125には、最も進んだ「高速遅角型CDI」が採用されている

前号の「パワージェット・キャブレター」にひきつづいて、市販レーシングマシンに採用されている、最新鋭ヤマハ技術をご紹介します。「高速遅角型CDI点火方式」——聞きなれない言葉ですが、これこそ14ページにご紹介した市販モトクロス「YZ」シリーズに採用されて、高性能YZエンジンを支える強力な力となっているのです。

さらに進んだCDI点火 「高速遅角型」CDI点火のはなし

●一般車でも好評の「CDI点火方式」をさらに進歩させて

パッソル&パッソラからキャロット、リック、マリックまで一連のヤマハソフトバイクシリーズをはじめ、ニューチャビィ、メイト、さらにSR400/500、RD250/400などに採用されて、お客さまの好評を集める「CDI点火方式」については、本誌6月号(27ページ)にご紹介しました。

●確実な火花による、確実な始動やすぐれた加速性能、高速性能●無接点式のためメンテナンスもフリー……といった、数多くのすぐれた特徴は、すでに多くのお客さまの大きな信頼を集めているものです。

この「CDI点火方式」もいわば、ハードなモータースポーツの世界で、鍛え抜かれ実用化された技術のひとつ。市販車への採用は'74年の市販モトクロス「YZ125/250」からでした。

そして、急ピッチな性能向上をつづける市販モトクロス「YZ」シリーズでは、この「CDI点火装置」も年ごとに改良を重ね、'80年モデルでは最も進んだ「高速遅角型CDI」へと至っているのです。

●エンジンが求める進角特性とは

ご承知のように、エンジンには低中速から最高速まで、各回転域で最も適した点火時期があります。これは、エンジンの燃焼効率を最大限に向上させ、各回転域に於けるエンジン出力を最も効率よくひき出すものです。

このエンジンの各回転域に応じて、最も適した点火(飛火)位置を角度で表わしたものが「進角特性」といわれるもので、一般的には低速時にはそれほど早くなく、高回転になるにつれて進んで(進角する)やる必要があるものです。これが、エンジンの要求進角特性に点火系統の特性をマッチさせること、というわけです。

●高回転ほど遅くなる要求進角

しかし、エンジン回転の上昇につれて点火時期もどんどんと進角させれば良いか、とい

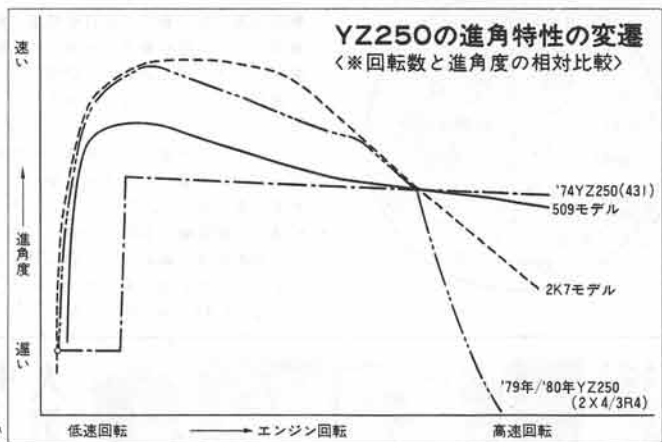
うと決してそういうものではありません。複雑な技術的内容は割愛させていただきますが、特にYZなどのような高回転、高出力型エンジンでは、ある一定回転までは進角が要求されるもの、それ以降はむしろエンジンから要求される進角も回転の上昇につれて遅くなる、という特性を持っています。

そして、こうしたエンジンの要求進角特性に応じて、高速回転時に点火時期を遅くさせる点火方式、それが名前のとおり『高速遅角型CDI点火方式』なのです。

ちなみに、右図をご覧ください。これは初めてCDI点火方式を採用した'74年モデルから'79年モデル(2X4)'80年モデル(3R4)までの「YZ250」の進角特性の変遷を表わしたものです。あくまでも、エンジン回転の変化と進角度の関係を相対比較

したものです。

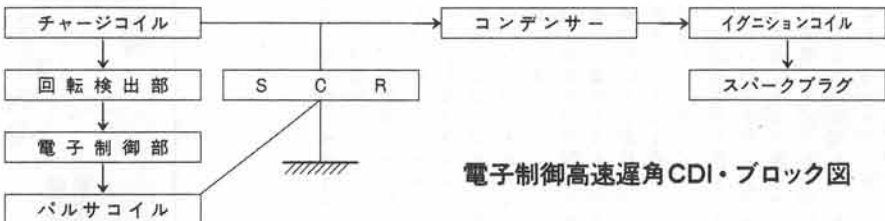
'74年(431)モデルでは、CDI点火ですが高速遅角型ではありませんので、高回転になっても点火時期はそのまま続いています。509、そして'78年モデルの2K7と年ごとに、エンジンの要求進角に合わせた「遅角」が行なわれていますが、'79年そして'80年モデルで、このマッチングがさらに進んでいることがわかりいただけるでしょう。



●年ごとに「高速遅角」も性能アップ

では、どんな方法でこの「高速遅角」を行なうのかをご説明しましょう。'78年モデル(2K7)とその前期モデル(509)では、CDI点火装置のパルサコイル(信号用コイル)の出力波形が回転数によって変化するのを利用して、電気的に低速域で進角させ、高速域で遅角させる方法をとっています。

これに対して、'79年と'80年の「YZ250」では上記の方法を基本に、さらに回転数を検出して、



電子制御高速遅角CDI・ブロック図

ヤマハ冬期用品ご案内

もうすぐ北風の季節
冬期用品の準備はお済みですか？
この冬も、お客さまに安全で、快適な
バイクライフをおすごしいただくために
豊富なヤマハウインター用品をおすすめください。



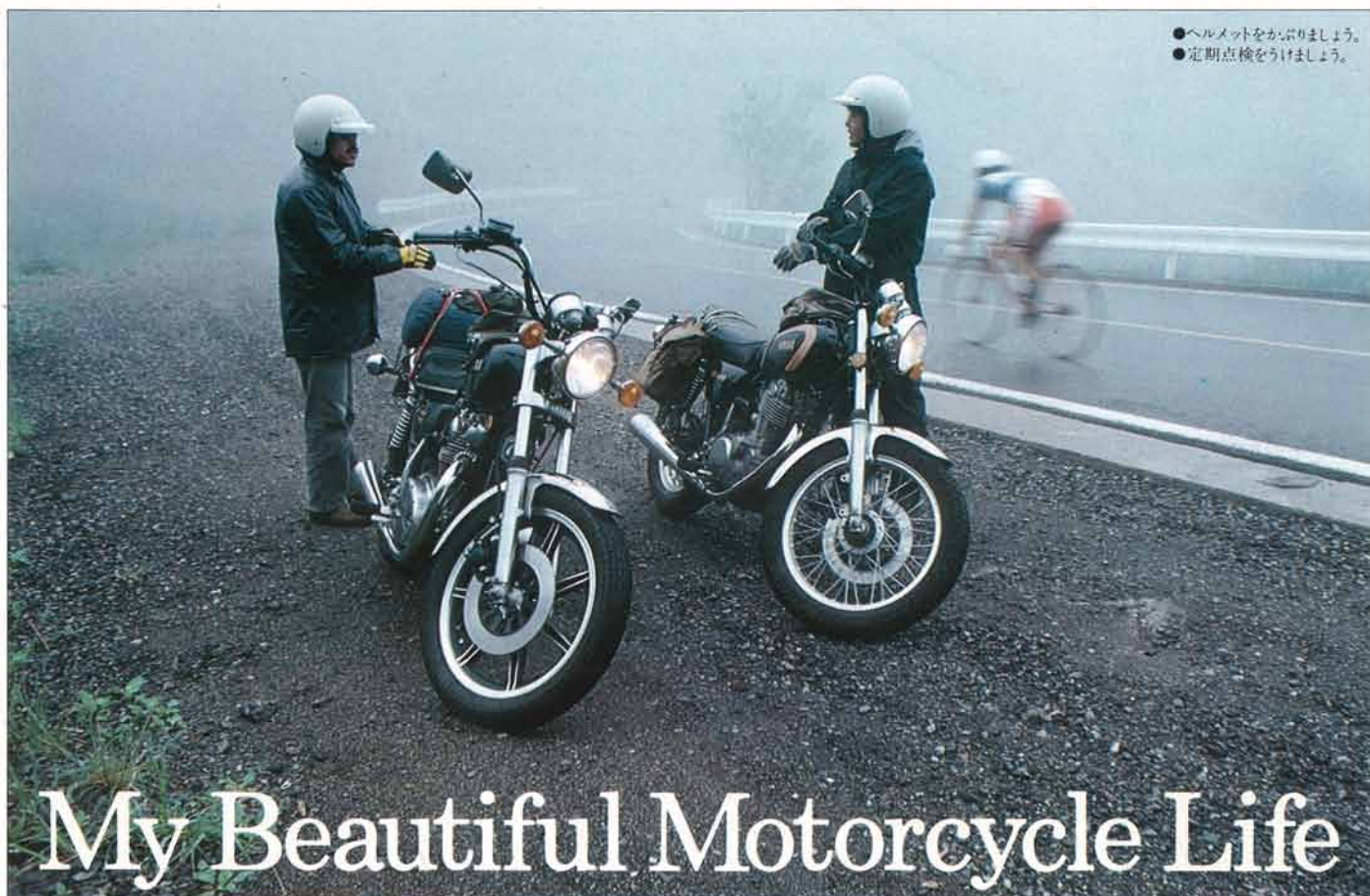
Handle Cover

ハンドルカバー#1 ●標準小売価格 ¥1800 ●カラー：黒、赤、黄、青、緑 ●塩ビ製 ●内張：モケットモルト2重張(ボア付)、鉄心入り、ジャージ付 ●ヤマハソフトバイク全機種およびチャビィ、メイト等プレスハンドル、アップハンドル小の全車に取付可能	ハンドルカバー#10 ●標準小売価格 ¥1500 ●カラー：黒、赤、黄、青、緑 ●塩ビ製 ●内張：布張りモルト、鉄心入り、ジャージ付 ●ヤマハソフトバイク全機種およびチャビィ、メイト等プレスハンドル、アップハンドル小の全車に取付可能	ハンドルカバー#12 ●標準小売価格 ¥1300 ●カラー：黒、赤、黄、青、緑 ●塩ビ製 ●内張：モルトブレイン、ジャージ付 ●ヤマハソフトバイク全機種およびチャビィ、メイト等プレスハンドル、アップハンドル小の全車に取付可能	ハンドルカバー#2 ●標準小売価格 ¥1800 ●カラー：黒 ●塩ビ製 ●内張：モケットモルト2重張(ボア付)、鉄心入り、ジャージ付 ●Y B 50/90/125 およびパイプハンドル大の全車に取付可能	ハンドルカバー#20 ●標準小売価格 ¥1600 ●カラー：黒 ●塩ビ製 ●内張：布張りモルト、鉄心入り、ジャージ付 ●Y B 50/90/125 およびパイプハンドル大の全車に取付可能	ハンドルカバー#22 ●標準小売価格 ¥1350 ●カラー：黒 ●塩ビ製 ●内張：モルトブレイン、ジャージ付 ●Y B 50/90/125 およびパイプハンドル大の全車に取付可能

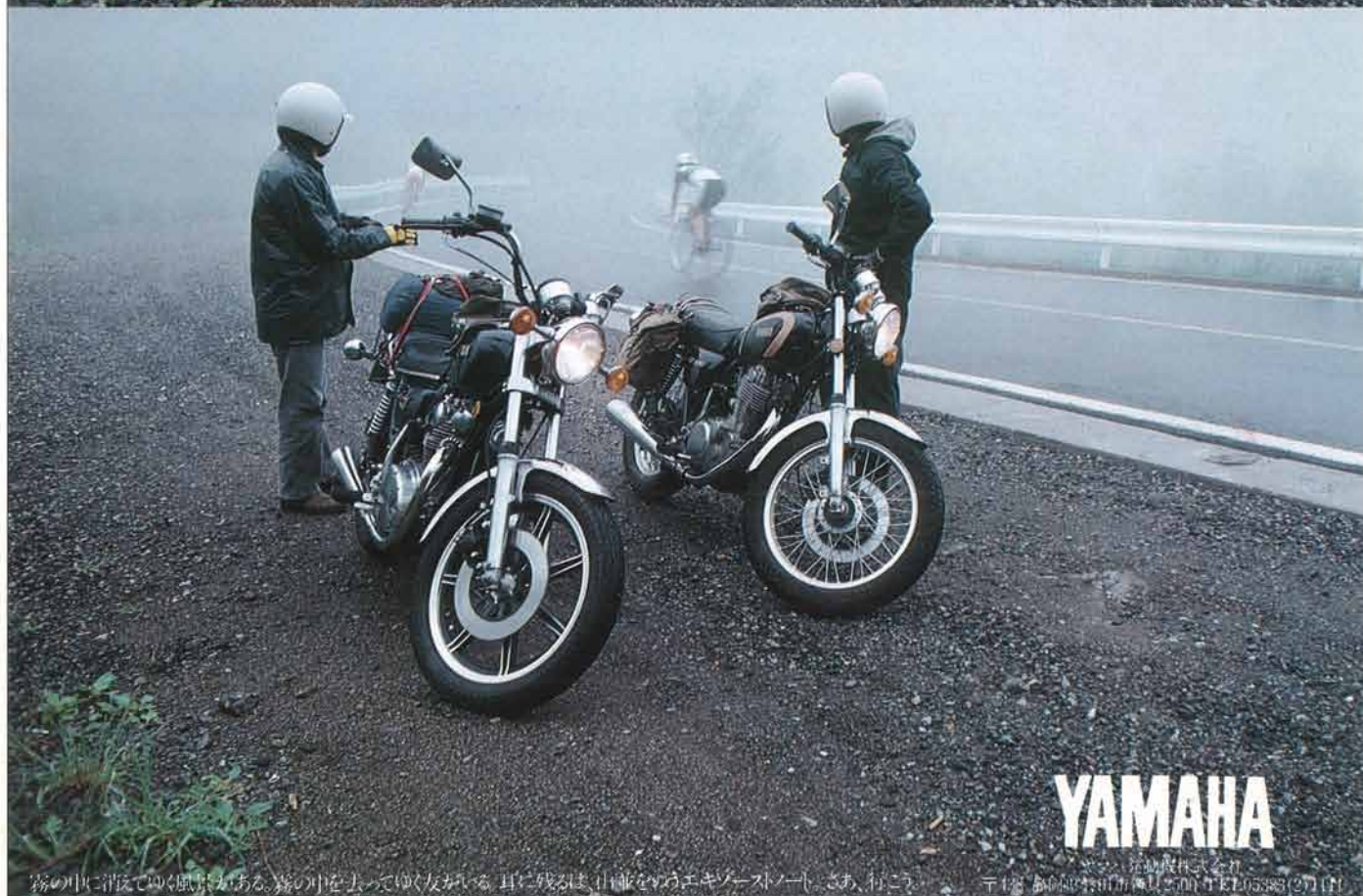
Wind Shield <風防>

●ヤマハ・オリジナル・ウインドシールドは風防素材に、特別配合による硬質塩ビ生地を使用。透明度がよく、衝撃につよくしかも変色しにくい特徴を備えています。 またタレ部の材質は、スポーツ78とヤングがハン布その他はすべて軟質塩化ビニールカ使用されています。					
	キャロット ●標準小売価格 ¥4100 ●カラー・チェック/ブルー、輪・黄/緑、輪・赤/黄	マリック&リリック ●標準小売価格 ¥4100 ●カラー・N・黄/緑、N・赤/黄	マリック&リリック ●標準小売価格 ¥4100 ●カラー・チェック/ブルー	パツノル&パツノルD ●標準小売価格 ¥4100 ●カラー・チェック/ブルー、花柄ブルー、花柄イエロー、花柄グリーン、花柄ホワイト	パツノーラ ●標準小売価格 ¥4100 ●カラー・チェック/ブルー、花柄ブルー、花柄イエロー、花柄グリーン、花柄ホワイト、花柄クリーム
チャビィ ●標準小売価格 ¥4100 ●カラー・チェック/ブルー、鳥ブルー、鳥イエロー、鳥グリーン、鳥ホワイト、鳥クリーム	ポピュラー-1 ●標準小売価格 ¥4700 ●カラー・ブルー ●メイトその他プレスハンドル全車に取付可能	メイトSTD ●標準小売価格 ¥4300 ●カラー・チェック/ブルー、鳥ブルー	メイトDX ●標準小売価格 ¥4700 ●カラー・チェック/ブルー、鳥ブルー ●緑巻き付	ヤング ●標準小売価格 ¥5700 ●カラー・イエロー、ブラック、レッド、ホワイト、●カラーは緑巻きパイプの色変り	スポーツ78 ●標準小売価格 ¥5500 ●カラー・モスグリーン

- ヘルメットをかぶりましょう。
- 定期点検を受けましょう。



My Beautiful Motorcycle Life



YAMAHA

霧の中を消えてゆく風景がある。霧の中を去ってゆく友がいる。耳に残るは、山並をワウエキゾーストノード。さあ、行こう。TEL 05383(2)1111

広告活動ご紹介

マイ・ビューティフル・モーターサイクルライフ——2輪専門誌を通じて展開されている、このシリーズ広告も4回目。お客さまにもうすっかりおなじみのものとなっています。暮しを彩るホビーのひとつとしてスポーツバイクを楽しむ、そんなお客さまがいま着実に増えつづけています。